# 建設工事様式

# 建 設 工 事 様 式 目 次

**契約様式　（　）は建設工事請負契約約款の条文**


請負代金内訳書（第３条関係）…… 1295
当初（変更）工程表（第３条関係）…… 1296
納記（第４条関係）…… 1299
領収証書（第４条関係）…… 1300
払戻請求書（第４条関係）…… 1301
保証書に係る領収書（第４条関係）…… 1302
下請負人名簿（第７条関係）…… 1303
実務経歴書【書式例】…… 1304
県外業者を下請業者とする理由書…… 1305
権限委任（職務分担）通知書（第９条関係）…… 1306
現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届（第１０条関係）…… 1307
実務経歴書【書式例】…… 1308
誓約書（配置技術者の専任）（第１０条関係）…… 1309
誓約書（配置技術者の兼務）（第１０条関係）…… 1310
誓約書（下請制限）（第１０条関係）…… 1311
工事履行報告書（第１１条関係）…… 1312
措置請求書（第１２条，第２６条関係）…… 1313
措置決定通知書（第１２条関係）…… 1314
工事材料持出承認願（第１３条関係）…… 1315
支給品受領書（第１５条関係）…… 1316
貸与品借用（返納）書（第１５条関係）…… 1317
貸与品・支給品亡失き損報告書（第１５条関係）…… 1318
支給品精算書（第１５条関係）…… 1319
確認依頼書（第１８条関係）…… 1320
確認結果通知書（第１８条関係）…… 1321
内容変更通知書（第１９条，第２０条，第４０条関係）…… 1322
工事一時中止通知書（第２０条，第４０条関係）…… 1323
工期延長（短縮）申請書（第２１条，第２２条関係）…… 1324
工期の変更について（協議）（第２３条関係）…… 1325
請負代金額等の変更について（協議）（第２３条，第２４条関係）…… 1326





変更協議に係る承諾書（第２３条，第２４条関係）…… 1327
賃金又は物価変動・特別の事情の発生に基づく請負代金額の
　変更について（協議）（第２５条関係）…… 1328
賃金又は物価変動・特別の事情の発生に基づく請負代金額の
　変更に係る協議が整わなかった場合の通知について（第２５条関係）…… 1329
賃金又は物価変動・特別の事情の発生に基づく請負代金額の
　変更請求について（第２５条関係）…… 1330
工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更について（協議）…… 1331
工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更請求について…… 1332
請負代金額等の変更について（協議）…… 1333
工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更請求について…… 1334
工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更請求に係る承諾書…… 1335
天災その他の不可抗力による損害の通知について（第２９条関係）…… 1336
損害確認通知書（第２９条関係）…… 1337
設計図書の変更について（協議）（第３０条関係）…… 1338
変更協議に係る承諾書（第３０条関係）…… 1339
完成通知書（第３１条関係）…… 1340
検査調書（第３１条，第３８条関係）…… 1341
検査結果通知書（第３１条，第３８条関係）…… 1342
修補完了通知書（第３１条，第３８条関係）…… 1343
引渡書（第３１条関係）…… 1344
引渡請求書（第３１条関係）…… 1345
請求書（第３２条，第３７条関係）…… 1346
請求書（第３２条，第３４条，第３７条関係）…… 1347
請求書（中間前払金）（第３２条，第３４条，第３７条関係）…… 1348
部分使用承認願（第３３条関係）…… 1349
部分使用承諾書（第３３条関係）…… 1350
認定請求書・認定調書（第３４条関係）…… 1351
請負工事出来形検査要求書（第３７条関係）…… 1352
出来形検査調書（第３７条関係）…… 1353
出来形検査結果通知書（第３７条関係）…… 1354
請負代金相当額について（協議）（第３７条関係）…… 1355
指定部分引渡書（第３８条関係）…… 1356

指定部分相当額について（協議）（第３８条関係）…… 1357
協議に係る承諾書（第３７条，第３８条関係）…… 1358
指定部分完成通知書（第３８条関係）…… 1359
代理受領承認願（第３９条関係）…… 1360
建設工事請負契約解除通知書（契約保証がある場合）（第４３条関係）…… 1361
建設工事請負契約解除通知書（契約保証がない場合）（第４３条関係）…… 1362
仲裁合意書（第５０条関係）…… 1363

**契約関係様式**

入札書…… 1365
見積書…… 1366
辞退届…… 1367
建設工事請負契約書…… 1368
建設工事請負契約仮契約書…… 1369
建設工事変更請負契約書…… 1370
建設工事変更請負仮契約書…… 1371
主要資材購入先名簿…… 1372
県外業者を主要資材の購入先とする理由書…… 1373
代表者等変更届…… 1374
現場発生品調書…… 1375
中間検査調書…… 1376
保証金（保険金）請求書…… 1377
工事打合簿…… 1378
段階確認書…… 1379
材料確認書…… 1380
立会書…… 1381
施工体制台帳…… 1382
施工体制台帳（下請負人に関する事項）…… 1383
施工体制台帳（技術者台帳）…… 1384
施工体系図…… 1385
事故等速報…… 1386
工事一時中止解除通知書…… 1387
工事続行不能届…… 1388



**建設副産物関係様式**

再生資源利用計画書…… 1389
再生資源利用促進計画書…… 1390
再生資源利用実施書…… 1391
再生資源利用促進実施書…… 1392
法第１２条第１項に基づく書面…… 1393
分別解体等の計画等…… 1394
法第１３条及び省令第４条に基づく書面…… 1400
告知書…… 1407
通知書…… 1408

**施工管理関係様式**

品質・出来形品質管理表(表紙)（様式管－１）…… 1409
測定結果総括表（様式管－２）…… 1410
測定結果一覧表（様式管－３）…… 1411
出来形管理図表（様式管－４）…… 1412
出来形管理図(工程能力図)（様式管－５）…… 1413
度数表（様式管－６）…… 1414
Ｘ－Ｒｓ－Ｒｍ管理データシート（様式管－７の１）…… 1415
Ｘ－Ｒｓ－Ｒｍ管理データシート(その２)（様式管－７の２）…… 1416
Ｘ－Ｒｓ－Ｒｍ管理図（様式管－８）…… 1417
コンクリート中の塩分測定表（様式管－20）…… 1418
くい打成績表（様式管－31）…… 1419
浸透探傷試験記録書（様式管－33）…… 1420
放射線透過試験記録書（様式管－34）…… 1421
塗装膜厚測定表（様式管－35）…… 1422
塗装膜厚測定成績表（様式管－36）…… 1423
場所打杭（機械掘削）の施工記録（様式管－37）…… 1424
場所打コンクリート杭施工記録表（様式管－38）…… 1425
鉄筋ガス圧接超音波探傷検査記録（様式管－39）…… 1426

（第３条関係）

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

請負者　住所
氏名

印

# 請 負 代 金 内 訳 書

工　事　名

契約年月日　　平成　　年　　月　　日

請負代金額　　円

工　　期　　平成　　年　　月　　日から平成　　年　　月　　日まで

| 費　目 | 工　種 | 種　別 | 細　別 | 規　格 | 単位 | 数　量 | 単　価 | 金　　額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

※注　共通仮設費については，内訳として運搬費，準備費，仮設費，事業損失防止施設費，安全費，役務費，技術管理費，営繕費があり，本工事で該当する項目全てについて記入するものとする。



（第３条関係）

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

請負者　住所
氏名

印

# 当初（変更）工程表

工 事 名　　線・川　　工事

工事箇所　　市　　区
郡　　町
村

上記工事について，契約約款第３条に基づき次のとおり提出します。

| 費　　目 | 工　　種 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

注１　工程は棒線で記入し，それぞれの日を明示すること。（例3 ――― 12）
　　変更の場合は，当初を - - - - ，変更を ―――で記入する。
　２　着工年月日から工期末日迄を記入すること。

（　　枚目）

| 費　　目 | 工　　種 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |



| 備考 | 総合工程表 | % | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 | 月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 100 | | | | | | | | |
| | | 90 | | | | | | | | |
| | | 80 | | | | | | | | |
| | | 70 | | | | | | | | |
| | | 60 | | | | | | | | |
| | | 50 | | | | | | | | |
| | | 40 | | | | | | | | |
| | | 30 | | | | | | | | |
| | | 20 | | | | | | | | |
| | | 10 | | | | | | | | |

（第４条関係）

| 収支等命令者 | | |
|---|---|---|
| 受入 | | |
| 払出 | | |

| 廨出納員（出納長） | | |
|---|---|---|
| 受入 | | |
| 払出 | | |

# 納　　記

平成　　年　　月　　日

注1

平成　　年　　月　　日

（発注者）＿＿＿＿＿＿様

住　所
氏　名　　印

¥＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 注2
（券面額　¥＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿） 注3

ただし，＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿の（入札（契約）注4）（保証金（担　保）注4）として

有　価　証　券　の　内　訳 注5

| 証券名称 | 回・記号・番号 | 利歩 | 額　面 | 利　札 | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 枚数 | 合計額 | |
| | | % | 円 | | | |

---

## 領収（受領）書 注6

（入札（契約）注4）（保証金（担　保）注4）として納めた（金額を領収（証券を受領）注4）しました。

収入
印紙
２００円

平成　　年　　月　　日

住　所
氏　名　　印

注1：入札保証金（担保）の場合に県が領収（受領）印を押印します。
注2：現金で納める場合にその額を記載してください。
注3：有価証券で納める場合に券面額を記載してください。
注4：不用の文字を線で消してください。
注5：有価証券で納める場合に内訳を記載してください。
注6：担保の返還を受けたときに，記載・押印してください。



（第４条関係）

# 領　収　証　書

平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

領収印

次のとおり契約担保として有価証券を受領しました。

券面額　¥

（契約名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（契約年月日）平成　　年　　月　　日

有　価　証　券　の　内　訳

| 証券名称 | 回・記号・番号 | 利　歩 | 額　面 | 利　札 | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 枚数 | 合　計　額 | |
| | | | | | | |

（第４条関係）

# 払 戻 請 求 書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

住所

氏名　　印

¥＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 注1

（券面額¥＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）注2

ただし，　　の　入札（契約）注3　保証金（担　保）注3　として

有 価 証 券 の 内 訳 注4

| 証券名称 | 回・記号・番号 | 利歩 | 額　　面 | 利　　札 | | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 枚数 | 合計額 | |
| | | | | | | |

---

振 込 先 預 金 口 座 注5

金融機関名（　　）　店舗名（　　）
口 座 名 義（　　）
預 金 種 目（　□普通　□当座　□その他（　　））
口 座 番 号（　　）

注1：現金で納めている場合にその額を記載してください。
注2：有価証券で納めている場合に券面額を記載してください。
注3：不用文字を線で消してください。
注4：有価証券で納めている場合に内訳を記載してください。
注5：現金で納めている場合に，振込先口座について記載してください。



（第４条関係）

# 保証書に係る領収書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

請負者　住所

氏名　　印

貴職より保証書（変更契約書がある場合には変更契約書を含む。）を領収したので，銀行等に返還すること及び今後，保証書の滅失，き損等につき一切の責任を負うことを約します。

注　金融機関による保証書を工事完成後返還するときに使用する。
　　なお，その他の保証書，保証証券の場合は返還不要。

（第７条関係）

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　様

請負者　住所
氏名

印

# 下　請　負　人　名　簿（第　　回）

1　工 事 名
2　工事箇所
3　請負金額

建設工事請負契約約款第７条の規定により通知します。

| 番号 | 下請負業者名<br>所　在　地 | 許 可 番 号<br>許可年月日等 | 下請負金額 | 下請負部分の工事内容 | 主任技術者氏名<br>（生年月日） | 技術者資格 | 下請負人区分 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | 国土交通大臣<br>知事 許可<br>〔般<br>特〕第　　号<br>許可年月日<br>（　・　・　）<br>許可業種<br>（　　工事業） | 千円<br>¥ | | （　・　・　生） | イ<br>・<br>ロ<br>・<br>ハ | 1次<br>下請<br>・<br>2次<br>以降 | |
| 2 | | 国土交通大臣<br>知事 許可<br>〔般<br>特〕第　　号<br>許可年月日<br>（　・　・　）<br>許可業種<br>（　　工事業） | 千円<br>¥ | | （　・　・　生） | イ<br>・<br>ロ<br>・<br>ハ | 1次<br>下請<br>・<br>2次<br>以降 | |
| 3 | | 国土交通大臣<br>知事<br>〔般<br>特〕第　　号<br>許可年月日<br>（　・　・　）<br>許可業種<br>（　　工事業） | 千円<br>¥ | | （　・　・　生） | イ<br>・<br>ロ<br>・<br>ハ | 1次<br>下請<br>・<br>2次<br>以降 | |

（注）1　許可番号については，必要なものを〇で囲み，許可証の写しを添付すること。（許可証が複数の場合は，当該工事に必要な業種が記載されたものでよい。）
2　許可業種は，下請業者の有する許可のうち，当該下請工事に必要な業種のみを記載すること。
3　契約内容の確認できるもの〔契約書の写し等（下請負に付した工区を明示した図面等を含む）〕を添付すること。
4　技術者資格は，建設業法第７条第２号イ・ロ・ハのうち該当するものの記号を〇で囲み，資格者証等の写しを添付すること。（実務経験者の場合は，実務経歴書を添付すること。）
5　主任技術者と下請負人との雇用関係が確認できるもの（健康保険証の写し等）を添付すること。
6　下請業者が本県以外に主たる営業所を有する業者であるときは，県外業者を下請業者（又は主要資材の購入先）とする理由書を添付すること。
7　下請業者が４以上あるときは，用紙を追加して提出すること。
8　記載事項に変更が生じた場合は，速やかに再提出すること。
9　二次下請以下の下請負人も全て記入すること。下請負人区分は，請負者が直接その当事者となって下請負させる業者については１次下請を，請負人が直接その当事者とならない下請負業者については２次以降を〇で囲むこと。



# 実務経歴書【書式例】

| 技術者指名 | | 生年月日 | |
|---|---|---|---|
| 学　歴 | 学校　　課　　学科<br>年　　月卒業 | | |
| 職　歴 | 年　　月入社 | | |
| 法該当区分<br>（該当する区分に〇） | 建設業法第7条第2号　　イ　　ロ | | |

| 職　名 | 実務経験内容 | 実務経験年数 |
|---|---|---|
| | | 年　月から　　年　月まで |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | 合　計　　年　　月 |

上記のとおり相違ありません。
平成　　年　　月　　日

所　　在　　地
商号または名称　　印
代 表 者 名

別　紙

# 県外業者を下請業者とする理由書

平成　　年　　月　日

（　発　注　者　）　様

請負者　所在地
　　商号又は名称　　印
担当者　職名
　　氏名

この工事の一部について広島県外に主たる営業所・本店を有する者に請け負わせる理由は次のとおりですのであらかじめ届出ます。

1　工 事 名
2　工事箇所
3　請負金額
4　工　　期
5　下請内容

| 下請負業者名<br>所　在　地 | 許　可　番　号<br>許可年月日等 | 下請負金額<br>（見積金額） | 下請負部分<br>の工事内容 | 主任技術者氏名<br>（生年月日） | 技術者<br>資　格 | 下請負<br>人区分 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 国土交通大臣<br>知事<br>般・特　　号 | 千円 | | | イ<br>・<br>ロ<br>・<br>ハ | 1次<br>下請<br>・<br>2次<br>以降 | |
| | 許可年月日<br>（　・　・　）<br>許可業種<br>（　　） | ¥ | | （　・　・　生） | | | |
| ※　理由を具体的に記載してください。 | | | | | | | |

（注）1　許可番号については，必要なものを○で囲み，許可証の写しを添付すること。（許可証が複数の場合は，当該工事に必要な業種が記載されたものでよい。）
2　許可業種は，下請業者の有する許可のうち，当該下請工事に必要な業種のみを記載すること。
3　契約内容の確認できるもの〔見積書の写し等（下請負に付する工区を明示した図面等を含む）〕を添付すること。
4　技術者は，配置予定の者について記載すること。
5　技術者資格は，建設業法第７条第２号イ・ロ・ハのうち該当するものの記号を○で囲み，資格者証等（監理技術者資格者証を有している場合は，監理技術者資格者証）の写しを添付すること。（実務経験者の場合は，実務経歴書を添付すること。）
6　主任技術者と下請負人との雇用関係が確認できるもの（健康保険証の写し等）を添付すること。
7　記載事項に変更が生じた場合は，速やかに再提出すること。
8　実際に下請契約を締結した場合は，契約約款第７条に基づき，下請負人名簿を提出すること。
9　二次下請以下の下請負人も全て記入すること。下請負人区分は，請負者が直接その当事者となって下請負させる業者については１次下請を，請負人が直接その当事者とならない下請負業者については２次以降を○で囲むこと。



（第９条関係）

# 権限委任（職務分担）通知書

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　様

（　発　注　者　）　　印

次のとおり監督員に権限を委任し（職務を分担させ）たので，通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名<br>（路河川・地区名等） | |
| 工　事　場　所 | |
| 契 約 年 月 日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 監督員の職・氏名及び委任権限（職務の内容） | 監　督　員<br>総括監督員<br>（監督業務に関する総括）<br>主任監督員<br>（監督業務のうち現場に関する総括）<br>一般監督員<br>（監督業務のうち上記以外の業務）<br><br>旧　監　督　員<br>総括監督員　　－<br>主任監督員　　－<br>一般監督員　　－ |

（第１０条関係）

# 現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　様

請負者　住所
氏名
印

次のとおり指名（変更）しましたのでお届けします。

1　工事名等

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工事箇所 | |
| 契約年月日 | |
| 工　　期 | 着手　平成　　年　　月　　日<br>完成　平成　　年　　月　　日 |
| 請負代金額 | |

2　現場代理人

| | |
|---|---|
| 氏　　名　（生年月日） | （　　・　・　　生） |
| 現場代理人の委任除外権限 | |

3　主任技術者又は監理技術者

| 施　工　形　態 | | 技術者の区　分 | 氏　　名（生年月日） | 資　　格 | 登録番号又は資格者証番号 |
|---|---|---|---|---|---|
| 直営 | Ⅰ　全て自社施工 | 主任技術者 | （　　・　・　　生） | | |
| 一部下請施工 | Ⅱ　下請け総額 3，000万円未満 | | | | |
| | Ⅲ　下請け総額 3，000万円以上 | 監理技術者 | （　　・　・　　生） | | |

4　専門技術者（工事の種類：　　工事）

| 氏　　名　（生年月日） | 資　　格 | 登録番号・資格者証番号 |
|---|---|---|
| （　　・　・　　生） | | |
| （　　・　・　　生） | | |
| （　　・　・　　生） | | |

（注）1　施工形態欄は，該当する区分のローマ数字を〇で囲むこと。
2　資格者欄には，建設業法第７条第２号イ・ロ及びハ並びに第１５条第２号イ・ロ及びハのうち該当するものを記入するとともに，当該工事に必要となる資格者証等を添付すること。（実務経験者の場合は，実務経歴書を添付すること。）
3　監理技術者については，監理技術者資格者証の写し（表・裏とも）及び監理技術者講習修了証の写しを添付すること。
ただし，平成16年2月29日以前に監理技術者資格者証の交付を受けた者（平成16年3月1日以後に監理技術者資格者証の交付を受けた者を除く。）については，監理技術者講習修了証の写しの添付を要しない。
4　施工形態の金額は，建築一式の工事にあっては，4，500万円と読み替えること。
5　請負金額が，建築一式工事にあっては，5，000万円以上，その他の工事にあっては2，500万円以上の場合には配置する主任技術者又は監理技術者について，他の工事の主任技術者にはなっていない旨の誓約書を添付すること。
6　主任技術者又は監理技術者と請負者との雇用関係が確認できるもの（健康保険証の写し等）を添付すること。ただし，監理技術者資格者証で確認できる場合はこの限りでない。
7　専門技術者とは，建設業法第２６条の２に規定する技術者をいう。
8　記載事項に変更が生じた場合は，速やかに再提出すること。



# 実務経歴書【書式例】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 技術者指名 | | 生年月日 | |
| 学　歴 | 学校　　課　　学科<br>年　　月卒業 | | |
| 職　歴 | 年　　月入社 | | |
| 法該当区分（該当する区分に〇） | 建設業法第7条第2号　　イ　　ロ | | |
| 職　名 | 実務経験内容 | 実務経験年数 | |
| | | 年　月から　　年　月まで | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | 合　計　　年　　月 | |

上記のとおり相違ありません。
平成　　年　　月　　日

所　　在　　地
商号または名称　　印
代　表　者　名

# 誓　　約　　書

平成　　年　　月　　日

（契約担当職員）様

請負人　住所
氏名
印

（工　　事　　名）の施工に関し，主任技術者（監理技術者）として専任で配置する（配置技術者氏名）については，他の建設工事の主任技術者又は監理技術者になっていないことを誓約するとともに，配置する期間に，建設業法第２６条第３項に違反して，他の建設工事の主任技術者等として配置しないことを誓約します。

また，（配置技術者氏名）は，経営業務の管理責任者又は専任技術者のいずれでもありません。



# 誓　　約　　書

平成　　年　　月　　日

（契約担当職員）様

請負人　住所
氏名　　印

（工　　事　　名）の施工に関し，主任技術者（監理技術者）として配置する（配置技術者氏名）については，現在３件（本件工事は含まない。）以上の建設工事（５００万円以上２，５００万円未満〔建築一式工事については，１，５００万円以上５，０００万円未満〕の工事。以下「建設工事」という。）の主任技術者又は監理技術者になっていないことを誓約するとともに，当該工事に配置している期間に，３件以上の建設工事の主任技術者等として兼務して配置しないことを誓約します。

また，（配置技術者氏名）は，経営業務の管理責任者又は専任技術者のいずれでもありません。

なお，（配置技術者氏名）が現在技術者として担当している工事の状況は，次のとおりです。

| 発注者名 | 工事名（工事箇所） | 請負金額(単:円) | 工期 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |

# 誓　　約　　書

平成　　年　　月　　日

（契約担当職員）　様

請負者　住所
氏名
印

（　工　事　名　）　の施工に関し，総額として３，０００万円以上（建築一式工事の場合は，４，５００万円以上）下請契約を締結しないことを誓約します。



第11条関係）

# 工 事 履 行 報 告 書

| | |
|---|---|
| 工事名 | |
| 工　期 | 年　月　日　～　　年　月　日 |
| 日　付 | 年　月　日 |

| 月　別 | 予定工程　%<br>（　）は工程変更後 | 実施工程　% | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

記事欄）

| 主　任<br>監督員 | 監督員 |
|---|---|
| | |

| 現　場<br>代理人 | 主任(監理)<br>技術者 |
|---|---|
| | |

備考　　毎月 7日までに, 前月末までの履行状況を報告すること。

（第１２条，第２６条関係）

# 措　置　請　求　書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　様

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　　印

次の工事の下記事項について，必要な措置をとるよう請求します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 請求事項 | |



（第１２条，第２６条関係）

# 措置決定通知書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　様

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　　印

平成　　年　　月　　日付けで措置請求のあった事項について，次のとおり措置することに決定したので，通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 措置事項 | |

（第１３条関係）

# 工 事 材 料 持 出 承 認 願

（　監　督　員　）　様

（会社名）
現場代理人　　印
（氏　名）

次の材料を持ち出したいので承認してください。

工 事 名

持出理由

| 持出年月日 | 品　　名 | 形状寸法 | 単位 | 持出数量 | 差引数量累　計 | 持　出　先 | 承認印※ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

注１　持出理由は詳細に記入のこと
　２　※は監督員押印欄



（第１５条関係）

# 支 給 品 受 領 書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　様

（会社名）
現場代理人
（氏　名）　　印

次のとおり支給品を受領した。

| 工事名 | |
|---|---|
| 契約年月日 | |

| 品　　名 | 規　格 | 単位 | 数　量 | | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

（第１５条関係）

# 貸与品借用（返納）書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　様

（会社名）

現場代理人

（氏　名）　　印

次のとおり貸与品を借用（返納）する。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | | | | | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 | | | | |
| 品　　名 | | 規　格 | 単位 | 数　量 | 備　　考 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |



（第１５条関係）

# 貸与品<br>支給品　亡失き損報告書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（会社名）

現場代理人

（氏　名）　　印

次のとおり（貸与品・支給品）を（亡失き損）したので報告します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | | | |
| 受領年月日 | | | |
| 物　品　名<br>又は機械名 | 亡失き損の日時<br>及び時間と場所 | 事故の原因<br>及び処置状況 | 賠　償　額 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

注１　事故の概要及び処置状況は別紙とし詳細に記入すること。
　２　必要により図面，写真，賠償見積書，及び証明書を添付すること。

（第１５条関係）

# 支給品精算書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（会社名）

現場代理人

（氏　名）　　印

次のとおり支給品を精算します。

| 工事名 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 契約年月日 | | | | | | | |
| 品　　名 | 規　格 | 単位 | 数　　量 | | | 備　　考 |
| | | | 支給数量 | 使用数量 | 残 数 量 | |
| | | | | | | |
| ※<br>監　督　員<br>証　明　欄 | 上記精算について調査したところ事実に相違ないことを証明する。<br>平成　　年　　月　　日<br>職氏名　　印 | | | | | ※<br>整理簿記入<br>年　月　日 |

注　※は監督員が記入する。



（第１８条関係）

# 確認依頼書

平成　　年　　月　　日

（　監　督　員　）　　様

請　負　者

住所

氏名　　印

契約約款第　　条第　　項の規定に基づき，次の事項について確認願います。

| 工　事　名 | |
|---|---|
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 確認事項 | |

（第１８条関係）

# 確　認　結　果　通　知　書

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

平成　　年　　月　　日付けで確認依頼のあった事項について，次のとおり確認したので通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 確認事項 | |



（第１９条，第２０条，第４０条関係）

# 工　事　内　容　変　更　通　知　書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　　印

次のとおり工事の内容変更をしたいので通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 変更内容 | |
| 変更理由 | |

（第２０条，第４０条関係）

# 工事一時中止通知書

平成　　年　　月　　日

（発注者）
（請負者）　　様

（発注者）
（請負者）　　印

次の工事について工事の一時中止をしたいので通知します。

| | |
|---|---|
| 工事名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 一時中止期間 | 平成　年　月　日　　～　平成　年　月　日 |
| 一時中止の範囲 | |
| 理由 | |



（第２１条，第２２条関係）

# 工期延長（短縮）申請書

平成　　年　　月　　日

（発注者）
（請負者）　様

（発注者）
（請負者）　　印

次の工事について，工期の延長（短縮）をしてください。

| | |
|---|---|
| 工事名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 工期 | 着手　平成　　年　　月　　日<br>完成　平成　　年　　月　　日 |
| 延長（短縮）日数 | 日間 |
| 延長（短縮）後完成期日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 申請時の出来高 | % |
| 理由 | |

（第23条関係）

平成　年　月　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

# 工期の変更について（協議）

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した次の工事について，次のとおり契約変更したいので協議します。
　なお，承諾の上は，別紙承諾書に記名押印の上提出してください。

1　工事名

（路河川・地区名等）

2　契約金額

3　変更事項

| 内容 | 既　契　約 | 変　更 |
|---|---|---|
| 工期 | 着手 平成　年　月　日<br>完成 平成　年　月　日 | 着手 平成　年　月　日<br>完成 平成　年　月　日 |

4　協議理由

5　協議開始日

平成　　年　　月　　日

6　協議が整わない場合

協議開始日から１４日以内に協議が整わない場合には，契約約款第２３条第１項に基づき，当該協議事項を決定し，通知したものとする。





（第23条，第24条関係）

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

# 請負代金額等の変更について（協議）

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した次の工事について，次のとおり契約変更したいので協議します。
　なお，承諾の上は，別紙承諾書に記名押印の上提出してください。

1　工事名

（路河川・地区名等）

2　請負代金額

| 内容 | 既　契　約 | 変　更 |
|---|---|---|
| 金額 | ¥<br>うち消費税及び地方消費税相当額　（¥　　） | ¥<br>うち消費税及び地方消費税相当額　（¥　　） |

3　変更工期

平成　　年　　月　　日 から 平成　　年　　月　　日 まで

4　図面及び仕様書

5　協議理由

6　協議開始日

平成　　年　　月　　日

7　協議が整わない場合

協議開始日から１４日以内に協議が整わない場合には，契約約款第２３条第１項，又は契約約款第２４条第１項に基づき，当該協議事項を決定し，通知したものとする。

（第２３条，第２４条関係）　　別紙

# 変 更 協 議 に 係 る 承 諾 書

平成　　年　　月　　日

（ 発 注 者 ）　　様

（ 請 負 者 ）　　印

平成　年　月　日付けの（工期・請負代金額）の変更に係る協議については，承諾します。

工事名

工事場所



（第２５条関係）

平成　　年　　月　　日

（ 発 注 者 ）
（ 請 負 者 ）　　様

（ 請 負 者 ）
（ 発 注 者 ）　　印

**賃金又は物価変動**
**特別の事情の発生**
**に基づく請負代金額の変更について（協議）**

標記について，次のとおり協議します。

1　工事名

2　協議額

3　変動前残工事代金額

4　変動後残工事代金額

5　基準日

6　協議開始日

平成　　年　　月　　日

注　「賃金又は物価変動」「工事材料価格の変動」「特別の事情の発生」のいずれかの文字を　═　線で削除して使用する。

（第２５条関係）

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

**賃金又は物価変動**
**に基づく請負代金額の変更に係る**
**特別の事情の発生**
**協議が整わなかった場合の通知について**

平成　　年　　月　　日付けで協議していた事項については，協議開始日から１４日以内に協議が整わなかったので，次のとおり決定します

１　工事名

２　変動前残工事代金額

３　変動後残工事代金額

４　基準日

平成　　年　　月　　日

注　「賃金又は物価変動」「工事材料価格の変動」「特別の事情の発生」のいずれかの文字を　＝　線で削除して使用する。



（第２５条関係）

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）
（　請　負　者　）　　印

**賃金又は物価変動**
**に基づく請負代金額の変更請求について**
**特別の事情の発生**

現在施工中の次の工事について，請負代金額が不適当となったと認めたので，契約約款第２５条により請負代金額を変更されるよう請求します。

※　また，変動前残工事代金額の算定の基礎となる当該請求時の出来形部分の確認の日を定めたいので，次のとおり協議します。

１　工事名

２　理由

※　３　確認予定年月日

平成　　年　　月　　日

| |
|---|
| ※<br>上記確認予定年月日については，承諾します。<br><br>（　発　注　者　）<br><br>（　請　負　者　）　　印 |

注１　※は賃金又は物価変動に基づく場合に記入する。
２　「賃金又は物価変動」「工事材料価格の変動」「特別の事情の発生」のいずれかの文字を　＝　線で削除して使用する。

（第２５条第５項関係）

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更について（協議）

標記について，次のとおり協議します。

1　工事名

2　工期
　自　平成　　年　　月　　日
　至　平成　　年　　月　　日

3　協議額

4　変動前残工事代金額

5　変動後残工事代金額

**注　協議額算定の根拠となる次の書類を添付すること。**
**・添付資料集計表**
**・実際に購入した材料の価格（数量及び単価），購入先，搬入・購入時期を証明する書類**



（第２５条第８項関係）

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更請求について

契約約款第２５条第８項による協議開始日は，次のとおりです。

1　工事名

2　工期
　自　平成　　年　　月　　日
　至　平成　　年　　月　　日

3　協議開始日
　平成　　年　　月　　日

4　理由

第23条, 第24条, 第25条関係）

平成　　年　　月　　日

（請 負 者 ）　様

（発 注 者 ）　　印

［　　］

# 請負代金額等の変更について（協議）

平成　年　月　日付けで請負契約を締結した次の工事について, 次のとおり契約変更したいので協議します。

なお, 承諾の上は, 別紙承諾書に記名押印の上提出してください。

1　工事名

2　請負代金額

| 内容 | 既　　契　　約 | 変　　更 |
|---|---|---|
| 金額 | うち消費税及び地方消費税相当額　（　　） | うち消費税及び地方消費税相当額　（　　） |
| うち24条分 | | |
| うち25条分 | ― | |

3　変更工期

平成　　年　　月　　日 から 平成　　年　　月　　日 まで

4　図面及び仕様書

5　協議理由

6　協議開始日

平成　　年　　月　　日

7　協議が整わない場合

協議開始日から14日以内に協議が整わない場合には, 契約約款第23条第1項, 契約約款第24条第1項, 又は契約約款第25条第7項に基づき, 当該協議事項を決定し, 通知したものとする。



（第２５条第５項関係）

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　様

（　発　注　者　）　印

工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更請求について（協議）

標記について，契約約款第２５条第５項に基づき請負代金額の変更を次のとおり請求します。なお，承諾の上は，別紙承諾書に記名押印の上，提出してください。

1　工事名

2　工期

自　平成　　年　　月　　日

至　平成　　年　　月　　日

3　請求する品目

4　スライド額協議開始予定日

平成　　年　　月　　日

5　請求の協議が整わない場合

請求日から７日以内に協議が整わない場合には，当該協議事項を決定し，通知したものとする。

6　その他

請求する品目に関する資材の集計表，納品書，請求書，領収書等を，随時提出してください。

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　印

工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更請求に係る承諾書

平成　　年　　月　　日付けの工事材料価格の変動に基づく請負代金額の変更請求に係る協議については，承諾します。

1　工事名

2　工期
　自　平成　　年　　月　　日
　至　平成　　年　　月　　日



（第２９条関係）

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

**天災その他の不可抗力による損害の通知について**

次のとおり，天災，その他の不可抗力により損害を生じたので，契約約款第２９条第１項により通知します。

1　工事名

2　工事場所

3　天災発生年月日

4　天然現象

5　被災概要　　（別紙内訳書及び写真）

6　請負者のとった処置

（第２９条関係）

# 損 害 確 認 通 知 書

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

契約約款第２９条第２項に基づいて，平成　　年　　月　　日付けで通知のあった損害については，次のとおり状況を確認したので通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 損害の確認 | |



（第３０条関係）

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

# 設計図書の変更について（協議）

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した次の工事について，次のとおり契約変更したいので協議します。

なお，承諾の上は，別紙承諾書に記名押印の上提出してください。

1　工事名

2　設計図書（図面及び仕様書）

3　協議理由

4　協議開始日

平成　　年　　月　　日

5　協議が整わない場合

協議開始日から１４日以内に協議が整わない場合には，契約約款第３０条第１項に基づき，当該協議事項を決定し，通知したものとする。

（第３０条関係）　　別紙

# 変 更 協 議 に 係 る 承 諾 書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

平成　年　月　日付けの設計図書の変更に係る協議については，承諾します。

工事名

工事場所



（第３１条関係）

# 完 成 通 知 書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

請　負　者

住所

氏名　　印

次の工事が完成したので，通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工 事 場 所 | |
| 請 負 代 金 額 | |
| 工　　期 | 着手　平成　　年　　月　　日<br>完成　平成　　年　　月　　日 |
| 工事完成年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 摘　　要 | |

（第３１条，第３８条関係）

# 検査調書

平成　　年　　月　　日

（発注者）　　様

検査員職氏名

印

次のとおり（完成・修補完了）に伴う検査を実施しました。

| | |
|---|---|
| 路線河川名等 | |
| 工事名 | |
| 工事場所 | |
| 請負代金額 | ¥ |
| 工期 | 着手　平成　年　月　日<br>完成　平成　年　月　日 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 請負者 | | | |
| 住所 | | | |
| 氏名 | | | |
| 完成通知年月日<br>修補完了通知年月日 | 平成　年　月　日 | | |
| 監督員職氏名 | | | |
| 検査年月日 | 平成　年　月　日 | | |
| 立会人職氏名 | 発注者 | | |
| | 請負者 | | |
| 合否の別 | 合格・不合格 | | |
| （検査不合格の場合） | | | |
| 修補事項 | | | |
| 修補期限 | 平成　年　月　日 | | |



（第３１条，第３８条関係）

# 検査結果通知書

平成　　年　　月　　日

（請負者）　　様

検査員職氏名

印

平成　年　月　日付けで（完成・修補完了）通知のあった工事の検査結果を次のとおり通知します。

| | | |
|---|---|---|
| 工事名 | | |
| 工事場所 | | |
| 請負代金額 | | ¥ |
| 工期 | | 着手　平成　年　月　日<br>完成　平成　年　月　日 |
| 完成通知年月日<br>修補完了通知年月日 | | 平成　年　月　日 |
| 検査年月日 | | 平成　年　月　日 |
| 立会人職氏名 | 発注者 | |
| | 請負者 | |
| 合否の別 | | 合格・不合格 |
| （検査不合格の場合） | | |
| 修補事項 | | |
| 修補期限 | | 平成　年　月　日 |

（第３１条，第３８条関係）

# 修 補 完 了 通 知 書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

次のとおり修補が完了したので，通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工 事 場 所 | |
| 請 負 代 金 額 | ¥ |
| 工　　期 | 着手　平成　　年　　月　　日<br>完成　平成　　年　　月　　日 |
| 修 補 事 項 | |
| 修 補 完 了<br>年　月　日 | 平成　　年　　月　　日 |



（第３１条関係）

# 引　　渡　　書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

次の工事を契約約款第３１条第４項に基づき引渡しいたします。

| | |
|---|---|
| 工事名 | |

（第３１条関係）

# 引 渡 請 求 書

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

次の工事を請負代金の支払完了と同時に引渡ししてください。

| | |
|---|---|
| 工事名 | |



（第３２条，第３７条関係）

# 請　　求　　書

契約書照合済　印
出来形検査調書照合済　印
（平成　年　月　日検査）
検査調書照合済　印
（平成　年　　月　　日検査）

¥

ただし，平成　　年　　月　　日契約（変更）の

に対する工事請負代金として（部分払第　　回目，完了払）

上記のとおり請求します。

平成　　年　　月　　日

〒

住所

氏名　　印

（　発　注　者　）　　様

| 請負金額 A | 今回までの出来形 歩合 B | 今回までの出来形 金額 C | 同左に対する9割相当額 C×0.9 ＝ D | 前回まで受領額 E | 今回請求額 D－E ＝ F | 残額 A－（E＋F） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 円 | % | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | |

口座振替先　金融機関名及び店舗名　　普通当座　　口座名義

注　前払金のない工事に対する請求書

（第３２条，第３４条，第３７条関係）

# 請　求　書

契約書照合済　印
前払金保証証書照合済　印
出来形検査調書照合済　印
（平成　年　月　日検査）
検査調書照合済　印
（平成　年　月　日検査）

¥

ただし，平成　　年　　月　　日契約（変更）の

に対する工事請負代金として（前金払，部分払第　　回目，完了払）

上記のとおり請求します。

平成　　年　　月　　日

〒

住所

氏名　　印

（　発　注　者　）　　様

| 請負金額 A | 前払金額 B | 前回 今回 までの出来形歩合（C）及び金額（D） | | 同左に対する 0.9 相当額（D×0.9＝E） | 控除額（B×C＝F） | 請求額（E－F＝G） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 円 | 円 | % | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| | | % | | | | | |
| 差引請求額 | | | | | | | |

口座振替先　金融機関名及び店舗名　　普通当座　　口座名義

注　前払金をする工事に対する請求書



（第３２条，第３４条，第３７条関係）

# 請　求　書

契約書照合済　印
前払金保証証書照合済　印
中間前払金保証証書照合済　印
出来形検査調書照合済　印
（平成　年　月　日検査）
認定調書照合済　印
（平成　年　月　日認定）
検査調書照合済　印
（平成　年　月　日検査）

¥

ただし，平成　　年　　月　　日契約（変更）の

に対する工事請負代金として（前金払，中間前金払，部分払第　　回目，完了払）

上記のとおり請求します。

平成　　年　　月　　日

〒

住所

氏名　　印

（　発　注　者　）　　様

| (1) 請負金額 A | (2) 前払金額 B | (3) 中間前払金額 C | (4) 前回 今回 までの出来形歩合（D）及び金額（E） | | (5) 同左に対する0.9相当額（E×0.9＝F） | (6) 控除額（B×D＝G） | (7) 請求額（F－G＝H） | (8) 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 円 | 円 | 円 | % | 円 | 円 | 円 | 円 | |
| | | | % | | | | | |
| 差引請求額 | | | | | | | | |

口座振替先　金融機関名及び店舗名　　普通当座　　口座名義

注１）前払金をする工事に対する請求書
注２）中間前金払を選択した工事にあっては，上記の表中(4)～(6)の記載は不要

（第３３条関係）

# 部分使用承認願

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

次の工事について未だ引渡しがなされていませんが，部分使用したいので承認してください。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工 事 場 所 | |
| 部分使用の範囲 | |



（第３３条関係）

# 部分使用承諾書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

平成　　年　　月　　日付けの部分使用の請求については，承諾します。

工 事 名

工事場所

（第３４条関係）

# 認　定　請　求　書

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工 事 場 所 | |
| 工　　期 | 平成　　年　月　日 から 平成　　年　月　日 まで |
| 請 負 代 金 額 | |

上記の工事について建設工事請負契約約款第３４条第４項に基づいて中間前金払の認定を請求する。

年　　月　　日

請 負 者　住　所　　氏　名　　印

（発注者）　　様

# 認　定　調　書

| | |
|---|---|
| 契約の相手方 | |
| 工 事 名 | |
| 工事場所 | |
| 工　　期 | 平成　　年　月　日 から 平成　　年　月　日 まで |
| 請負代金額 | |
| 摘　　要 | |

上記の工事についてその進捗を調査したところ、中間前金払をすることができる要件を具備していることを認定する（認定しない）。

年　　月　　日

（発注者）　　印



（第３７条関係）

# 請負工事出来形検査要求書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

契約約款第３７条第２項により，出来形検査を要求します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工 事 場 所 | |
| 請 負 代 金 額<br>（出来高予定額） | ¥<br>（¥　　） |
| 契 約 年 月 日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 工　　期 | 着手　平成　　年　　月　　日<br>完成　平成　　年　　月　　日 |
| 前回出来形検査 | 平成　　年　　月　　日 |
| 前回出来形検査高<br>(出来高予定額に対する出来形検査高) | %<br>（　　%） |
| 今 回 見 込<br>(出来高予定額に対する見込) | %　（平成　　年　　月　　日）<br>（　　%） |
| 回　　数 | 回のうち　　回目 |

注　債務負担行為に係る契約の場合は，（　）内も併せて記入するものとする。

（第３７条関係）

# 出来形検査調書

平成　　年　　月　　日

（発注者）　　様

監督員　広島県技術吏員

印

次のとおり施工してあることを認めます。

| | |
|---|---|
| 路線河川名等 | |
| 工事名 | |
| 工事場所 | |
| 期 | 着手　平成　年　月　日<br>完成　平成　年　月　日 |

| 決裁欄 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 請負者<br>住所<br>氏名 | | | |
| 請負代金額（今年度出来高予定額） | ¥　　（¥　　） | | |
| 前払金額（今年度前金払額） | ¥　　（¥　　） | | |
| 部分払済金額（今年度部分払支出済額） | ¥　　（¥　　） | | |
| 出来形検査年月日 | 平成　年　月　日 | 出来形（出来高／出来高予定額） | %（　　%） |
| 出来形請負代金相当額 | ¥ | | |
| 今回部分払請求可能額 | ¥ | | |

注　債務負担行為に係る契約の場合は，（　　）内も併せて記入するものとする。



（第３７条関係）

# 出来形検査結果通知書

平成　　年　　月　　日

（請負者）　　様

監督員 広島県技術吏員

印

次のとおり施工してあることを認めます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | | | |
| 工事場所 | | | |
| 工期 | 着手　平成　年　月　日<br>完成　平成　年　月　日 | | |
| 請負者 | | | |
| 請負代金額（出来高予定額） | ¥<br>（¥　　） | 前払金額 | ¥ |
| 出来形検査年月日 | 平成　年　月　日 | 部分払済金額 | ¥ |
| 出来形歩合（出来高予定額に対する出来形歩合） | %<br>（　　%） | 出来形請負代金相当額 | ¥ |
| 今回部分払請求可能額 | ¥ | | |

注　債務負担行為に係る契約の場合は，（　　）内も併せて記入するものとする。

（第３７条関係）

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

# 請負代金相当額について（協議）

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した次の工事について，出来形検査を行った結果，請負代金相当額について協議します。

なお，承諾の上は，別紙承諾書に記名押印の上提出してください。

1　工事名

2　出来高

％　　（　平成　　年　　月　　日　）

3　出来高請負代金相当額

¥

4　協議開始日

平成　　年　　月　　日

5　協議が整わない場合

協議開始日から１０日以内に協議が整わない場合には，契約約款第３７条第６項に基づき，当該協議事項を決定し，通知したものとする。



（第３８条関係）

# 指定部分完成通知書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

次の工事の指定部分が完成したので通知します。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工　事　場　所 | |
| 請　負　代　金　額 | |
| 指定部分完成期限 | 平成　　年　　月　　日 |
| 指定部分完成年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 摘　　要 | |

（第３８条関係）

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

（　発　注　者　）　　印

# 指定部分相当額について（協議）

平成　　年　　月　　日付けで請負契約を締結した次の工事についての指定部分相当額について協議します。

なお，承諾の上は，別紙承諾書に記名押印の上提出してください。

1　工事名

2　指定部分相当額

¥

3　協議開始日

平成　　年　　月　　日

4　協議が整わない場合

協議開始日から１４日以内に協議が整わない場合には，契約約款第３７条第６項に基づき，当該協議事項を決定し，通知したものとする。



（第３７条，第３８条関係）　　別紙

# 協　議　に　係　る　承　諾　書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

平成　年　月　日付けの（請負代金・指定部分）相当額に係る協議については,承諾します。

工事名

工事場所

（第３８条関係）

# 指定部分引渡書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

次の工事の指定部分を契約約款第３８条に基づき引渡しいたします。

| | |
|---|---|
| 工事名 | |
| 指定部分 | |



（第３９条関係）

# 代理受領承認願

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

工事名

上記工事の請負代金の受領について，次のとおり第三者を代理人としたいので，契約約款第３９条第１項に基づき承認してください。

| | |
|---|---|
| 支払いの種類 | |
| 請負代金額 | |
| 代理受領金額 | |
| 代理人住所氏名 | |
| 理　　由 | |

（契約保証がある場合）

（第４３条関係）

# 建設工事請負契約解除通知書

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

広　　島　　県　　知　　事

〒730-8511 広島市中区基町 10-52

○○○○課・室

平成　　年　　月　　日付けで貴社と請負契約を締結した次の工事について，貴社が建設工事請負契約約款第４３条第１項第○号に該当すると認めたので，当該規定により当該請負契約を解除します。

１　工　事　名

２　工 事 場 所

３　請負代金額

４　工　　期　　着手　平成　　年　　月　　日

完成　平成　　年　　月　　日



（契約保証がない場合）

（第４３条関係）

# 建設工事請負契約解除通知書

平成　　年　　月　　日

（　請　負　者　）　　様

広　　島　　県　　知　　事

〒730-8511 広島市中区基町 10-52

○○○○課・室

平成　　年　　月　　日付けで貴社と請負契約を締結した次の工事について，貴社が建設工事請負契約約款第４３条第１項第○号に該当すると認めたので，当該規定により当該請負契約を解除します。

ついては，建設工事請負契約約款第４３条第２項の規定により違約金として平成　　年　　月　　日までに金○，○○○，○○○円を，別途送付する納入通知書にしたがって支払ってください。

１　工　事　名

２　工 事 場 所

３　請負代金額

４　工　　期　　着手　平成　　年　　月　　日

完成　平成　　年　　月　　日

（第５０条関係）

# 仲 裁 合 意 書

工事名

工事場所

平成　　年　　月　　日に締結した上記建設工事の請負契約に関する紛争については，発注者及び請負者は，建設業法第２５条の９第１項又は第２項に定める建設工事紛争審査会の仲裁に付し，その仲裁判断に服する。

平成　　年　　月　　日

発注者　住所

氏名　　印

請負者　住所

氏名　　印

注　裏面参照の上，建設工事紛争審査会の仲裁に付することに合意する場合に使用する。



（裏面）

## 仲 裁 合 意 書 に つ い て

1　仲裁合意について

仲裁合意とは，裁判所への訴訟に代えて，紛争の解決を仲裁人に委ねることを約する当事者間の契約である。

仲裁手続によってなされる仲裁判断は，裁判上の確定判決と同一の効力を有し，たとえその仲裁判断の内容に不服があっても，その内容を裁判所で争うことはできない。

2　建設工事紛争審査会について

建設工事紛争審査会（以下「審査会」という。）は，建設工事の請負契約に関する紛争の解決を図るため建設業法に基づいて設置されており，同法の規定により，あっせん，調停及び仲裁を行う権限を有している。また，中央建設工事紛争審査会（以下「中央審査会」という。）は，国土交通省に，都道府県建設工事紛争審査会（以下「都道府県審査会」という。）は各都道府県にそれぞれ設置されている。審査会の管轄は，原則として，請負者が国土交通大臣の許可を受けた建設業者であるときは中央審査会，都道府県知事の許可を受けた建設業者であるときは当該都道府県審査会であるが，当事者の合意によって管轄審査会を定めることもできる。

審査会による仲裁は，三人の仲裁委員が行い，仲裁委員は，審査会の委員又は特別委員のうちから当事者が合意によって選定した者につき，審査会の会長が指名する。また，仲裁委員のうち少なくとも一人は，弁護士法の規定により弁護士となる資格を有する者である。

なお，審査会における仲裁手続は，建設業法に特別の定めがある場合を除き，仲裁法の規定が適用される。

# 入　札　書

¥

但し　第　　号

線　　郡　　町
川筋　　大字　　地内
港　　市　　村

工事請負代金

上記のとおり，広島県会計規則，広島県契約規則及び広島県建設工事執行規則承諾の上，入札します。

平成　　年　　月　　日

住所

氏名

契約担当職員

様



# 見　積　書

¥

但し　第　　号

線　　郡　　町
川筋　　大字　　地内
港　　市　　村

工事請負代金

上記のとおり，広島県会計規則，広島県契約規則及び広島県建設工事執行規則承諾の上，見積します。

平成　　年　　月　　日

住所

氏名

契約担当職員

様

# 辞　退　届

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　様

所在地

商号又は名称

代表者氏名　　印

次の建設工事の入札に指名を受けましたが，辞退いたします。

| | |
|---|---|
| 工　事　名 | |
| 工 事 場 所 | |
| 入札予定年月日 | 平成　　年　　月　　日 |
| 辞退する理由 | 1　手持ち工事が多く，工事を受注することが困難である。<br>（向こう　　ケ月程度）<br>2　技術者の確保が困難である。<br>3　作業員の確保が困難である。<br>4　会社（個人企業の場合は個人）の都合による。<br>5　その他（　　） |

注１　この届は，入札執行の完了に至るまでに発注機関に直接持参するか又は郵送（入札執行の前日までに必着するものに限る。）してください。
　なお，郵送の場合に地理的条件等により，入札執行の前日（その日が休日の場合はその直前の平日とする。）までに辞退届が到達しないおそれがある場合は，併せて，発注機関に対して入札辞退を電話連絡すること。
２　辞退する理由は，該当するものに○をしてください。
３　辞退する理由１の場合は，受注困難である月数を記入してください。



# 建 設 工 事 請 負 契 約 書

1　工 事 名

（路線河川名等）

2　工事場所

3　工　　期　　着手　平成　　年　　月　　日

完成　平成　　年　　月　　日

4　請負代金額　¥

（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額　¥　　）

5　契約保証金　¥

6　解体工事に要する費用等
（１）解体工事に要する費用　¥
（２）再資源化等に要する費用　¥
（３）分別解体等の方法

（４）再資源化等をする施設の名称及び所在地

7　特約事項

上記の工事について，発注者と請負者とは，各々の対等な立場における合意に基づいて，別紙の条項によって請負契約を締結し，信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また，請負者が共同企業体を結成している場合には，請負者は，契約書記載の工事を共同連帯して請け負うものとする。

この契約の締結を証するため，契約書２通を作成し，当事者記名・押印の上，各自その１通を所持する。

平成　　年　　月　　日

発注者　住所

氏名　　印

請負者　住所

氏名　　印

# 建 設 工 事 請 負 仮 契 約 書

1　工　　事　　名

(路線河川名等)

2　工　事　場　所

3　工　期　　着手　広島県議会の議決のあった日の翌日

完成　平成　　年　　月　　日

4　請 負 代 金 額　　¥

（うち取引に係る消費税及び地方消費税相当額　¥　　）

5　契 約 保 証 金　　¥

6　解体工事に要する費用等

（1）解体工事に要する費用　¥

（2）再資源化等に要する費用　¥

（3）分別解体等の方法

（4）再資源化等をする施設の名称及び所在地

7　特　約　事　項

上記の工事について，発注者と請負者とは，各々の対等な立場における合意に基づいて，別紙の条項によって請負の仮契約を締結し，信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また，請負者が共同企業体を結成している場合には，請負者は，仮契約書記載の工事を共同連帯して請け負うものとする。

この仮契約は，広島県議会の議決を得たときは，何らの手続をすることなく本契約となるものとし，双方信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

この仮契約の締結を証するため，契約書２通を作成し，当事者記名・押印の上，各自その１通を所持する。

平成　　年　　月　　日

発注者　住所

氏名　　印

請負者　住所

氏名

印



# 建設工事変更請負契約書

1　工事名

（路線河川名等）

2　工事場所

3　変更事項

（1）　請負代金額

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥<br>うち取引に係る消費税及び地方消費税の額　¥ | ¥<br>うち取引に係る消費税及び地方消費税の額　¥ |

（2）　工期　　着手　平成　　年　　月　　日

完成　平成　　年　　月　　日　　日間短縮

（3）　工事内容　　別紙設計図　　枚，　仕様書　　冊のとおり

（4）　契約保証金

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥ | ¥ |

（5）　解体工事に要する費用

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥ | ¥ |

（6）　再資源化等に要する費用

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥ | ¥ |

（7）　分別解体の方法

（8）　再資源化等をする施設の名称及び所在地

（9）　その他

上記のとおり平成　　年　　月　　日締結した請負契約を変更する契約の締結を証するため，契約書２通を作成し，当事者記名・押印の上，各自その１通を所持する。

平成　　年　　月　　日

発注者　住所

氏名　　印

請負者　住所

氏名

印

# 建設工事変更請負仮契約書

1　工事名

（路線河川名等）

2　工事場所

3　変更事項

（1）　請負代金額

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥<br>うち取引に係る消費税及び地方の相当額　¥ | ¥<br>うち取引に係る消費税及び地方消費税の額　¥ |

（2）　工期　　着手　平成　　年　　月　　日
　　完成　平成　　年　　月　　日

（3）　工事内容　　別紙設計図　　枚，　仕様書　　冊のとおり

（4）　契約保証金

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥ | ¥ |

（5）　解体工事に要する費用

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥ | ¥ |

（6）　再資源化等に要する費用

| 変　更　前 | 変　更　後 |
|---|---|
| ¥ | ¥ |

（7）　分別解体等の方法

（8）　再資源化等をする施設の名称及び所在地

（9）　その他

上記のとおり平成　　年　　月　　日締結した請負条約を変更する契約の締結を証するため，仮契約書２通を作成し，当事者記名・押印の上，各自その１通を所持する。

この仮契約は、広島県議会の議決を得たときは、何らかの手続をすることなく本契約になるものとする

平成　　年　　月　　日

発注者　住所

氏名　　印

請負者　住所

氏名

印



平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

（　請　負　者　）　　印

## 主要資材購入先名簿（第　　回目）

工　事　名　　工事

工　事　箇　所　　市　　区
　　郡　　町

上記工事の主要資材を次の者から購入しますのでお届けします。

| 資材名 | 製造業者 | 購入先 | 単位 | 数量 | 購入先所在地 | 電話番号 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

(注)　購入先が本県以外に主たる営業所を有する業者であるときは，県外業者を下請業者（又は主要資材の購入先）とする理由書を添付すること。

別　紙

## 県外業者を主要資材の購入先とする理由書

平成　　年　　月　日

（　発　注　者　）　様

請負者　所在地
　　商号又は名称　　印
担当者　職名
　　氏名

この工事について，広島県内に営業所を有しない者から主要資材の購入をする理由は次のとおりです。

1　工 事 名
2　工事箇所
3　請負金額
4　工　　期
5　理　　由

| |
|---|
| ※　理由を具体的に記載してください。 |

**【特約事項（抜粋）】**

| |
|---|
| 7　資材を購入しようとする場合は，極力広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとし，あらかじめ購入先の名称及び所在地並びに資材名等を発注者に通知するものとする。<br>　なお，広島県内に主たる営業所・本店を有しない業者の県外の営業所から資材を購入しようとする場合は，あらかじめ県外業者を主要資材の購入先とする理由書を提出すること。 |



# 代 表 者 等 変 更 届

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　様

（　請　負　者　）
印

工事名

上記工事について契約書中の（住　所／代表者）を次のとおり変更しましたので，お届けします。

旧

新

# 現　場　発　生　品　調　書

平成　　年　　月　　日

（　監　督　員　）　様

会社名
現場代理人氏名　　印

次のとおり発生品が生じたので納入します。

| 工事名 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 品　　名 | 規　　格 | 単位 | 数　量 | 発 生 工 種 | 備　　考 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

資料添付欄



# 中　間　検　査　調　書

平成　　年　　月　　日

（　発　注　者　）　　様

検査員職氏名

印

次の工事について，中間検査を実施しました。

| | |
|---|---|
| 路線河川名<br>工　事　名 | |
| 工 事 場 所 | |
| 請負代金額 | ￥ |
| 工　　期 | 平成　年　月　日 ～ 平成　年　月　日 |
| 請　負　者<br>住 所 氏 名 | |

| | |
|---|---|
| 監 督 員 職 氏 名 | |
| 立 会 人 職 氏 名 | |
| 検 査 年 月 日 | 平成　年　月　日 |
| 進　捗　率 | 計画　　%　　実績　　% |

| 決裁欄 | | | |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

# 保証金（保険金）請求書

平成　　年　　月　　日

（金融機関又は保険会社）　様

住所

氏名　　印

平成　　年　　月　　日付けで請負者　　と締結した建設工事請負契約（　　線・川　　工事）については，平成　　年　　月　　日付けで解除しましたので，下記金額の支払い請求します。

なお，支払い方法等については，別途納入通知書を送付しますのでこれにしたがって下さい。

記

請求金額　　金　　円

証券番号　　



# 工　事　打　合　せ　簿

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施工年度 | | 工　事　名 | |
| 工事箇所 | 市郡　　町　　大字 | 線・川・港・地区名 | |
| 発　議　者 | □ 発注者　□ 請負者 | 発議年月日 | 平成　年　月　日 |
| 発議事項 | □ 指示 □ 協議 □ 通知 □ 承諾 □ 提出 □ 報告 □ その他　（　） | | |

（内　容）

添付図　　葉、その他添付図書

| | | |
|---|---|---|
| 処理・回答 | 発注者 | 上記について　□ 指示　□ 承諾　□ 協議　□ 通知　□ 受理　します。<br>□ その他（　）<br>平成　年　月　日 |
| | 請負者 | 上記について　□ 了解　□ 協議　□ 提出　□ 報告　□ 届出　します。<br>□ その他（　）<br>平成　年　月　日 |

| 総括監督員 | 主任監督員 | 一般監督員 |
|---|---|---|
| | | |

| 現場代理人 | 主任(監理)技術者 |
|---|---|
| | |

# 段　階　確　認　書

## 施 工 予 定 表

平成　　年　　月　　日

設計図書に基づき、次のとおり施工段階の予定時期を報告します。

請 負 者 名：
工 事 名：　　現場代理人名等：　　印

種　別：　　細　別：

| 請 負 者 記 入 欄 | | | 監督員記入欄 | |
|---|---|---|---|---|
| 段 階 確 認 項 目 | 確認予定時期 | 備　　考 | 確認予定時期 | 備　　考 |
| | | | | |

## 確　認　書

平成　　年　　月　　日

上記種別について、段階確認を実施し確認した。

監督員名：　　印

資料添付欄



# 材　料　確　認　書

平成　　年　　月　　日

設計図書に基づき、次のとおり材料確認を実施してください。

請 負 者 名：
工 事 名：　　現場代理人名等：　　印

請負者）
確認予定時期：

監督員）
確認予定時期：

| 請 負 者 記 入 欄 | | | | 監督員記入欄 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 材料名 | 品質規格 | 単位 | 搬入数量 | 確認方法 | 合格数量 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

## 確　認　書

平成　　年　　月　　日

上記種別について、材料確認を実施し確認した。

監督員名：　　印

# 立　会　書

平成　　年　　月　　日

設計図書に基づき、次のとおり立会してください。

請 負 者 名：

工事名：　　現場代理人名等：　　印

| 請負者記入欄 | | | 監督員記入欄 | |
|---|---|---|---|---|
| 立会項目 | 立会予定時期 | 備考 | 立会予定時期 | 備考 |
| | | | | |

## 確　認　書

平成　　年　　月　　日

上記項目について立会い確認した。

監督員名：　　印

資料添付欄



年　月　日

# 施工体制台帳

[会社名]＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

[事業所名]＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

| 建設業の許可 | 許可業種 | 許可番号 | 許可(更新)年月日 |
|---|---|---|---|
| | 工事業 | 大臣 特定 / 知事 一般　第　号 | 年　月　日 |
| | 工事業 | 大臣 特定 / 知事 一般　第　号 | 年　月　日 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名称及び工事内容 | | | |
| 発注者名及び住所 | 〒 | | |
| 工期 | 自　年　月　日<br>至　年　月　日 | 契約日 | 年　月　日 |

| 契約営業所 | 区分 | 名称 | 住所 |
|---|---|---|---|
| | 元請契約 | | |
| | 下請契約 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 発注者の監督員名 | | 権限及び意見申出方法 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 監督員名 | | 権限及び意見申出方法 | |
| 現場代理人名 | | 権限及び意見申出方法 | |
| 監理技術者名 | 専任<br>非専任 | 資格内容 | |
| 専門技術者名 | | 専門技術者名 | |
| 資格内容 | | 資格内容 | |
| 担当工事内容 | | 担当工事内容 | |

(記入要領)
1 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載ある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
2 監理技術者の配置状況について「専任・非専任」のいづれかに○印を付けること。
3 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)

<<下請負人に関する事項>>

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会 社 名 | | 代表者名 | |
| 住　所<br>電話番号 | 〒<br>(TEL　　－　　－　　) | | |
| 工事名称<br>及　び<br>工事内容 | | | |
| 工　期 | 自　　年　　月　　日<br>至　　年　　月　　日 | 契約日 | 年　　月　　日 |

| | 施工に必要な許可業種 | 許可番号 | 許可(更新)年月日 |
|---|---|---|---|
| 建設業の<br>許　　可 | 工事業 | 大臣　特定<br>知事　一般　第　　号 | 年　　月　　日 |
| | 工事業 | 大臣　特定<br>知事　一般　第　　号 | 年　　月　　日 |

| | |
|---|---|
| 現場代理人名 | |
| 権限及び<br>意見申出方法 | |
| ※主任技術者名 | 専任<br>非専任 |
| 資 格 内 容 | |

| | |
|---|---|
| 安全衛生責任者名 | |
| 安全衛生推進者名 | |
| 雇用管理責任者名 | |
| ※専門技術者名 | |
| 資 格 内 容 | |
| 担当工事内容 | |

※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]

1　主任技術者の配置状況について[専任 ･非専任]のいづれかに○印を付すること。

2　専門技術者には、土木 ･建築一式工事を施工の場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
　複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。

3　主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記入する)
①経験年数による場合
1)大学卒[指定学科]　3年以上の実務経験
2)高校卒[指定学科]　5年以上の実務経験
3)その他　　10年以上の実務経験
②資格等による場合
1)建設業法　技術検定」
2)建設業法　建築士試験」
3)技術士法　技術士試験」
4)電気工事士法　電気工事士試験」
5)電気事業法　電気主任技術者国家試験等」
6)消防法　消防設備士試験」
7)職業能力開発促進法　技能検定」



施工体制台帳様式（技術者台帳）

工事技術者台帳

| | |
|---|---|
| 元請会社名 | |
| 監理技術者名 | |
| 生年月日 | |

【写真添付欄】

【注意事項】

※添付する写真は，
縦　3cm
横　2．5cm
程度の大きさとし，
顔が判別できるものとする。

本様式は，2部作成し，1部保管し，1部提出する。ただし，カラーコピーの場合は，カラーコピーを提出する。また，デジカメ使用の場合は，印刷したもので可とする。

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

| | |
|---|---|
| 会社名 | |
| 主任技術者名 | |
| 生年月日 | |
| 専任 ・ 非専任 | |

【写真添付欄】

# 工事作業所災害防止協議会兼施工体系図






# 事故等速報

所属

速報者　　受理　年　月　日　時　分

| | |
|---|---|
| 発生年月日 | 年　月　日　時　分ごろ |
| 発生場所 | 県　市　郡 |
| 件名 | |
| 有資格業者名 | 元請<br>下請 |

| | 当事者（加害） | 当事者（被害） |
|---|---|---|
| 住所 | | |
| 氏名 | | |
| 生年月日(年令) | | |
| 職種 | | |
| 雇主 | | |
| 負傷の程度 | | |

事故等の概要及び原因

発生後の措置

# 工事一時中止解除通知書

平成　　年　　月　　日

（請負者）　　様

（発注者）　　印

平成　　年　　月　　日付けで通知した次の工事の一時中止については，平成　　年　　月　　日をもって解除します。

| | |
|---|---|
| 工事名 | |
| 工事場所 | |
| 契約年月日 | 平成　　年　　月　　日 |



平成　　年　　月　　日

（発注者）　　様

（請負者）　　印

# 工事続行不能届

平成　　年　　月　　日付けで貴殿と請負契約を締結した次の工事については，続行不能となりましたので，お届けします。

1　工事名
2　工事場所
3　請負代金額
4　工期　　着手　平成　　年　　月　　日
　　完成　平成　　年　　月　　日
5　続行不能理由

# 様式２･ロ　再生資源利用促進計画書　－建設副産物搬出工事用－

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

**裏面**

## １工事概要

表面　様式１）に必ずご記入下さい　　灰色の部分は、記入する必要がありません。

## ２建設副産物搬出計画

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについてご記入下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

| 建設副産物の種類 | 場外搬出時の性状 | ①発生量 概削等）=②+③+④ 小数点第一位まで | 現場内利用・減量 現場内利用 用途コード*10 | ②利用量 小数点第一位まで | うち現場内改良分 小数点第一位まで | 減量化 減量法コード*11 | ③減量化量 小数点第一位まで | 現場外搬出について 搬出先名称（2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。） | 区分（どちらかに○を付けて下さい） | 施工条件の内容コード*12 | 搬出先場所住所※ | 住所コード*4 | 運搬距離 千 百 十 キロ | 搬出先の種類コード*13 | ④現場外搬出量 小数点第一位まで | うち現場内改良分 小数点第一位まで | ⑤再生資源利用促進量（注2） | 再生資源利用促進率（⑤/①×100 ％） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特定建設資材廃棄物 | コンクリート塊 | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | トン | % |
| | 建設発生木材A（柱、ボード類を除く。建設現場から発生する木材） | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | アスファルト・コンクリート塊 | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | トン | % |
| 建設廃棄物 | その他がれき類 | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 建設発生木材B（白木、防腐剤などが現場等に少しでも入る） | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 建設汚泥 | トン | | トン | トン | | トン | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | トン | % |
| | 金属くず | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 廃塩化ビニル管・継手 | kg | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | kg | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | kg | | kg | % |
| | 廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く） | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 廃石膏ボード | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 紙くず | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 石綿（アスベスト）含有性） | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | その他の分別されたし廃棄物 | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 混合状態の廃棄物（建設現場混合廃棄物） | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| 建設発生土 | 第一種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 第二種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 第三種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 第四種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 浚渫土（建設汚泥を除く） | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 合計 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | | | | | | | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |

コード*10
1.路盤材　2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他（具体的に記入）

コード*11
1.焼却　2.脱水
3.天日乾燥
4.その他（具体的に記入）

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
発注時に指定されたもの）
2.B指定処分（もしくは準指定処分）
発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの）
3.自由処分

コード*13　詳細は（表11）参照のこと）

建設廃棄物の場合
1.売却　8.廃棄物最終処分場（海面処分場）
2.他の工事現場　9.廃棄物最終処分場（内陸処分場）
3.広域認定制度による処理　10.その他の処分
4.中間処理施設（アスファルト合材プラント）
5.中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）
6.中間処理施設（サーマルリサイクル）
7.中間処理施設（単純焼却）

建設発生土の場合
1.売却　7.ストックヤード（再利用先工事が未決定）
2.他の工事現場（内陸）　8.工事予定地
3.他の工事現場（海面）　9.採石場（砂利採取跡地等復旧事業
ただし、廃棄物最終処分場を除く）　10.廃棄物最終処分場（覆土としての受入）
4.土質改良プラント（再利用先工事が決定）　11.廃棄物最終処分場（覆土以外の受入）
5.土質改良プラント（再利用先工事が未決定）　12.建設発生土受入地（公共事業の土捨場）
6.ストックヤード（再利用先工事が決定）　13.建設発生土受入地（農地受入）
14.建設発生土受入地（開発土捨場・埋土処分場）

注2 再生資源利用促進量について
現場外搬出量（④のうち、搬出先の種類（コード13）が
建設廃棄物の場合）
1.～6.の合計
建設発生土の場合）
1.～6.の合計

1390

# 様式１･イ　再生資源利用計画書　－建設資材搬入工事用－－ 建設リサイクルガイドライン」、建設リサイクル法第11条通知別表」対応版－

**表面**

## １工事概要

灰色の部分は、記入する必要がありません。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 発注機関名 | 発注機関コード*1 | 発注担当者チェック欄 | |
| | | 担当者 | |
| | | TEL | （　　） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 請負会社名 | | 請負会社コード*2 | |
| 建設業許可または解体工事業登録 | 大臣 知事 | 号 | |
| 会社所在地 | | TEL | （　　） |
| | | FAX | （　　） |

| | |
|---|---|
| 記入年月日 | H.　年　月　日 |
| 工事責任者 | |
| 調査票記入者 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | | 工事種別コード*3 | |
| 工事施工場所 | 都道府県　市区町村 | 住所コード*4 | |
| 工事概要等 | 施工条件の内容（再生資源の利用に関する特記事項等） | | |

請負金額　千百十億億億万万万万 1万円未満四捨五入 0,000円（税込み）

工期　平成　年　月　日から　平成　年　月　日まで

左記金額の次特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用　千百十億億億万万万万 1万円未満四捨五入 0,000円（税込み）

再資源化等が完了した年月日　平成　年　月　日

建築 解体工事のみの会社に記入して下さい

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建築面積 | 百十万万万千百十一 $m^2$ | 階数 | 地上　階 地下　階 |
| 延床面積 | $m^2$ | | |
| 構造（数字に○をつける） | 1.鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　2.鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　3.鉄骨造　4.ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造　5.木造　6.その他 | | |
| 使途（数字に○をつける） | 1.居住専用　2.居住産業併用　3.事務所　4.店舗　5.工場、作業所　6.倉庫　7.学校　8.病院診療所　9.その他 | | |

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

## ２建設資材利用計画

注 コード*5～9は下記欄外のコード表より数字を選んで下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

| 建設資材（新材を含む全体の利用状況） 分類 | 小分類 コード*5 | 規格 | 主な利用用途 コード*6 | 利用量A）小数点第一位まで | 左記のうち、再生資材の利用状況（再生資材を利用した場合に記入して下さい） 再生資材の供給元施設、工事等の名称 | 供給元種類 コード*7 | 施工条件内容 コード*8 | 再生資材の供給元場所住所※ | 住所コード*4 | 再生資材の名称 コード*9 | 再生資材利用量B）小数点第一位まで | 再生資源利用率 B/A×100 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特定建設資材 | コンクリート | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | コンクリート及び鉄から成る建設資材 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 木材 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | アスファルト混合物 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| その他の建設資材 | 土砂 | | | 締め$m^3$ | | | | | | | 締め$m^3$ | % |
| | | | | 締め$m^3$ | | | | | | | 締め$m^3$ | % |
| | 合計 | | | 締め$m^3$ | | | | | | | 締め$m^3$ | % |
| | 砕石 | | | $m^3$ | | | | | | | $m^3$ | % |
| | | | | $m^3$ | | | | | | | $m^3$ | % |
| | 合計 | | | $m^3$ | | | | | | | $m^3$ | % |
| | 塩化ビニル管・継手 | | | kg | | | | | | | kg | % |
| | | | | kg | | | | | | | kg | % |
| | 合計 | | | kg | | | | | | | kg | % |
| | 石膏ボード | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | その他の建設資材 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |

コード*5
コンクリートについて
1.生コン（バージン骨材）　2.再生生コン（co再生骨材Ⅱ）
3.再生生コン（co再生骨材Ⅲ）　4.再生生コン（co再生骨材Ⅳ）
5.再生生コン（その他のco再生骨材）　6.再生生コン（co再生骨材以外の再生材）
7.無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ二次製品　8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品　2.その他
木材について
1.木材（ボード類を除く）　2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン　2.密粒度アスコン　3.細粒度アスコン
4.調粒度アスコン　5.改質アスコン　6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土
7.建設汚泥処理土　8.再生コンクリート砂　9.山砂、山土などの新材採取土、購入土）
砕石について
1.クラッシャーラン　2.粒度調整砕石　3.鉱さい
4.細粒度砕石　5.くり石、割くり石、自然石　6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管　2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード　2.シージング石膏ボード　3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード　5.石膏ラスボード　6.その他
その他の建設資材について
利用量の多いと位2品目を具体的に記入して下さい）

コード*6
アスファルト混合物について
1.表層　2.基層
3.上層路盤　4.歩道
5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
土砂について
1.道路路体　2.路床　3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用　6.水面埋立用
7.ほ場整備（農地整備）
8.その他（具体的に記入）
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他（具体的に記入）
塩化ビニル管・継手について
1.水道（配水）用　2.下水道用　3.ｶﾞｰﾌﾞﾙ用
4.農業用　5.設備用　6.その他
石膏ボードについて
1.壁　2.天井　3.その他
その他の建設資材について
利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

コード*9
コンクリートについて
1.再生生コン（co再生骨材Ⅰ）　2.再生生コン（co再生骨材Ⅱ）
3.再生生コン（co再生骨材Ⅲ）　4.再生生コン（その他のco再生骨材）
5.再生生コン（co再生骨材以外の再生材）　6.再生無筋コンクリート二次製品
7.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.再生有筋コンクリート二次製品　2.その他
木材について
1.再生木材（ボード類を除く）　2.再生木質ボード
アスファルト混合物について
1.再生粗粒度アスコン　2.再生密粒度アスコン　3.再生細粒度アスコン
4.再生調粒度アスコン　5.再生改質アスコン　6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土
7.建設汚泥処理土　8.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン　2.再生粒度調整砕石　3.鉱さい　4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管　2.その他
その他の建設資材について
利用量の多いと位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

注1 再生資材利用量について
アスファルト混合物等で、利用した再生材（製品）の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材（製品）の利用量を記入して下さい。

裏面にもご記入下さい

1389

## 様式２　再生資源利用促進実施書　－建設副産物搬出工事用－

**1工事概要**　表面 様式１)に必ずご記入下さい　　□灰色の部分は、記入する必要がありません。

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

**裏面**

**2建設副産物搬出実施**

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについてご記入下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

| 建設副産物の種類 | 場外搬出時の性状 | ①発生量（掘削等）=②+③+④ 小数点第一位まで | 現場内利用 用途コード*10 | ②利用量 小数点第一位まで | うち現場内改良分 小数点第一位まで | 減量化 減量法コード*11 | ③減量化量 小数点第一位まで | 搬出先名称（2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。） | 区分（どちらかに○を付けて下さい） | 施工条件の内容 コード＊12 | 搬出先場所住所※ | 住所コード *4 | 運搬距離 | 搬出先の種類 コード *13 | ④現場外搬出量 小数点第一位まで | うち現場内改良分 小数点第一位まで | ⑤再生資源利用促進量 注2) | 再生資源利用促進率 (②+③+⑤)/① (%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特定建設資材廃棄物 | コンクリート塊 | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | トン | % |
| | 建設発生木材A（柱、ボード等が廃棄物となったもの） | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | アスファルト・コンクリート塊 | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | トン | % |
| 建設廃棄物 | その他がれき類 | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 建設発生木材B（伐木、除根材などが廃棄物となったもの） | トン | | トン | トン | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 建設汚泥 | トン | | トン | トン | | トン | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | トン | トン | % |
| | 金属くず | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 廃塩化ビニル管・継手 | kg | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | kg | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | kg | | kg | % |
| | 廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く） | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 廃石膏ボード | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | 紙くず | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | トン | % |
| | アスベスト（飛散性） | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | その他の分別された廃棄物 | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | 混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物） | トン | | | | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | トン | | | |
| 建設発生土 | 第一種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 第二種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 第三種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 第四種建設発生土 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 浚渫土（建設汚泥を除く） | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | 搬出先1 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | | |
| | | | | | | | | 搬出先2 | 公共 民間 | | | | km | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |
| | 合計 | 地山m³ | | 地山m³ | 地山m³ | | | | | | | | | | 地山m³ | 地山m³ | 地山m³ | % |

コード*10
1.路盤材　2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他（具体的に記入）

コード*11
1.焼却　2.脱水
3.天日乾燥
4.その他（具体的に記入）

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
　発注時に指定されたもの）
2.B指定処分（もしくは準指定処分）
　発注時には指定されていないが、
　発注後に設計変更し指定処分とされたもの）
3.自由処分

コード*13（詳細は、表11）参照のこと）

【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設（アスファルト合材プラント）
5.中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）
6.中間処理施設（サーマルリサイクル）
7.中間処理施設（単純焼却）
8.廃棄物最終処分場（海面処分場）
9.廃棄物最終処分場（内陸処分場）
10.その他の処分

【建設発生土の場合】
1.売却
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
　ただし、廃棄物最終処分場を除く
4.土質改良プラント（再利用先工事が決定）
5.土質改良プラント（再利用先工事が未決定）
6.ストックヤード（再利用先工事が決定）
7.ストックヤード（再利用先工事が未決定）
8.工事予定地
9.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
10.廃棄物最終処分場（覆土としての受入）
11.廃棄物最終処分場（覆土以外の受入）
12.建設発生土受入地（公共事業の土捨場）
13.建設発生土受入地（農地受入）
14.建設発生土受入地（民間土捨場・残土処分場）

注2再生資源利用促進量について
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類（コード*13）が
【建設廃棄物の場合】
　1～6の合計
【建設発生土の場合】
　1～6の合計



## 様式１　再生資源利用実施書　－建設資材搬入工事用－－ 建設リサイクルガイドライン」、建設リサイクル法第18条再資源化報告」、「H20建設副産物実態調査」対応版－

**1工事概要**　□灰色の部分は、記入する必要がありません。

**表面**

| 発注機関名 | | 発注機関コード＊1 | 発注担当者チェック欄 | 担当者 | TEL ( ) |
|---|---|---|---|---|---|

| 請負会社名 | | 請負会社コード＊2 |
|---|---|---|
| 建設業許可 または 解体工事業登録 | 大臣 知事 | 号 |
| 会社所在地 | | TEL ( ) FAX ( ) |

| 記入年月日 | H.　年　月　日 |
|---|---|
| 工事責任者 | |
| 調査票記入者 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事名 | | 工事種別コード*3 ー | 請負金額 | 千百十億億億億万万万万 ,0００円（税込み） 1万円未満四捨五入 |
| 工事施工場所 | 都道府県　市区町村 | 住所コード*4 | 工期 | 平成　年　月　日から／平成　年　月　日まで |
| 工事概要等 | | 施工条件の内容（再生資源の利用に関する特記事項等） | | |

左記金額のうち特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用：千百十億万万万万 ,0００円（税込み） 1万円未満四捨五入

再資源化等が完了した年月日：平成　年　月　日

建築・解体工事のみ右欄に記入して下さい

| 建築面積 | m² | 階数 | 地上　階 |
|---|---|---|---|
| 延床面積 | m² | | 地下　階 |
| 構造（数字に○をつける） | 1.鉄骨鉄筋コンクリート造　2.鉄筋コンクリート造　3.鉄骨造　4.コンクリートブロック造　5.木造　6.その他 | | |
| 使途（数字に○をつける） | 1.居住専用　2.居住産業併用　3.事務所　4.店舗　5.工場、作業所　6.倉庫　7.学校　8.病院診療所　9.その他 | | |

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

**2建設資材利用実施**

注：コード＊5～9は下記欄外のコード表より数字を選んで下さい。

※住所情報は、国の施策立案等において活用させていただきますので、番地までご記載願います。

| 分類 | 小分類 コード＊5 | 規格 | 主な利用用途 コード*6 | 利用量 A) 小数点第一位まで | 再生資材の供給元施設、工事等の名称 | 供給元種類 コード*7 | 施工条件の内容 コード*8 | 再生資材の供給元場所住所※ | 住所コード *4 | 再生資材の名称 コード*9 | 再生資材利用量 B) 小数点第一位まで 注1) | 再生資源利用率 B/A×100 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 特定建設資材 コンクリート | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| コンクリート及び鉄から成る建設資材 | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| 木材 | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| アスファルト混合物 | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| その他の建設資材 土砂 | | | | 締めm³ | | | | | | | 締めm³ | % |
| | | | | 締めm³ | | | | | | | 締めm³ | % |
| | 合計 | | | 締めm³ | | | | | | | 締めm³ | % |
| 砕石 | | | | m³ | | | | | | | m³ | % |
| | | | | m³ | | | | | | | m³ | % |
| | 合計 | | | m³ | | | | | | | m³ | % |
| 塩化ビニル管・継手 | | | | kg | | | | | | | kg | % |
| | | | | kg | | | | | | | kg | % |
| | 合計 | | | kg | | | | | | | kg | % |
| 石膏ボード | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |
| その他の建設資材 | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | | | | トン | | | | | | | トン | % |
| | 合計 | | | トン | | | | | | | トン | % |

コード*5
コンクリートについて
1.生コン（バージン骨材）　2.再生生コン（Co再生骨材H）
3.再生生コン（Co再生骨材M）　4.再生生コン（Co再生骨材L）
5.再生生コン（その他のCo再生骨材）　6.再生生コン（Co再生骨材以外の再生材）
7.無筋コンクリート二次製品　8.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品　2.その他
木材について
1.木材（ボード類を除く）　2.木質ボード
アスファルト混合物について
1.粗粒度アスコン　2.密粒度アスコン　3.細粒度アスコン
4.開粒度アスコン　5.改質アスコン　6.アスファルトモルタル
7.加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土
7.建設汚泥処理土　8.再生コンクリート砂　9.山砂、山土などの新材（採取土、購入土）
砕石について
1.クラッシャーラン　2.粒度調整砕石　3.鉱さい
4.単粒度砕石　5.くり石、割ぐり石、自然石　6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管　2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード　2.シージング石膏ボード　3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード　5.石膏ラスボード　6.その他
その他の建設資材について
利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい）

コード*6
アスファルト混合物について
1.表層　2.基層
3.上層路盤　4.歩道
5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
土砂について
1.道路路体　2.路床　3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用　5.宅地造成用　6.水面埋立用
7.ほ場整備（農地整備）
8.その他（具体的に記入）
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他（具体的に記入）
塩化ビニル管・継手について
1.水道（配水管）　2.下水道用　3.ケーブル用
4.農業用　5.設備用　6.その他
石膏ボードについて
1.壁　2.天井　3.その他
その他の建設資材について
利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*8
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

コード*9
コンクリートについて
1.再生生コン（Co再生骨材H）　2.再生生コン（Co再生骨材M）
3.再生生コン（Co再生骨材L）　4.再生生コン（その他のCo再生骨材）
5.再生生コン（Co再生骨材以外の再生材）　6.再生無筋コンクリート二次製品
7.その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.再生有筋コンクリート二次製品　2.その他
木材について
1.再生木材（ボード類を除く）　2.再生木質ボード
アスファルト混合物について
1.再生粗粒度アスコン　2.再生密粒度アスコン　3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン　5.再生改質アスコン　6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材　8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土　2.第二種建設発生土　3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土　5.浚渫土　6.土質改良土
7.建設汚泥処理土　8.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン　2.再生粒度調整砕石　3.鉱さい　4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管　2.その他
その他の建設資材について
利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

注1再生資材利用量について
アスファルト混合物等で、利用した再生材（製品）の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材（製品）の利用量を記入して下さい。

**裏面にもご記入下さい**

（12 条関係様式）

# 法第１２条第１項に基づく書面

平成　　年　　月　　日

（発注者）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

（郵便番号　　－　　）
住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第 12 条第 1 項の規定により，対象建設工事の届出に係る事項について，次のとおり説明します。

１．工事の名称

２．工事の場所

３．説明内容　　添付資料のとおり

４．添付資料

①別表（別表 1～3 のいずれかに必要事項を記載したもの）

□別表 1（建築物に係る解体工事）

□別表 2（建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替））

□別表 3（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等））

②工程の概要を示す資料

□工程表



別表１

（Ａ４）

建築物に係る解体工事

# 分別解体等の計画等

| | | | |
|---|---|---|---|
| 建築物の構造 | | □木造　□鉄骨鉄筋コンクリート造　□鉄筋コンクリート造<br>□鉄骨造　□コンクリートブロック造　□その他（　　） | |
| 建築物に関する調査の結果 | 建築物の状況 | 築年数＿＿＿年、棟数＿＿＿棟<br>その他（　　） | |
| | 周辺状況 | 周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校<br>□病院　□その他（　　）<br>敷地境界との最短距離　約＿＿＿＿m<br>その他（　　） | |
| 建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容 | | 建築物に関する調査の結果 | 工事着手前に実施する措置の内容 |
| | 作業場所 | 作業場所　□十分　□不十分<br>その他（　　） | |
| | 搬出経路 | 障害物　□有（　　）　□無<br>前面道路の幅員　約＿＿＿m<br>通学路　□有　□無<br>その他（　　） | |
| | 残存物品 | □有<br>（　　）<br>□無 | |
| | 特定建設資材への付着物 | □有<br>（　　）<br>□無 | |
| | その他 | | |

| | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | ①建築設備・内装材等 | 建築設備･内装材等の取り外し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由（　　） |
| | ②屋根ふき材 | 屋根ふき材の取り外し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由（　　） |
| | ③外装材・上部構造部分 | 外装材・上部構造部分の取り壊し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| | ④基礎・基礎ぐい | 基礎・基礎ぐいの取り壊し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| | ⑤その他<br>（　　） | その他の取り壊し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| 工事の工程の順序 | | □上の工程における①→②→③→④の順序<br>□その他（　　）<br>その他の場合の理由（　　） | |
| □内装材に木材が含まれる場合 | | ①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し<br>□可　□不可<br>不可の場合の理由（　　） | |
| 建築物に用いられた建設資材の量の見込み | | トン | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 廃棄物発生見込量 | 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分 | 種類 | 量の見込み | 発生が見込まれる部分（注） |
| | | □コンクリート塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤ |
| | | □ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤ |
| | | □建設発生木材 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤ |
| | （注）　①建築設備・内装材等　②屋根ふき材　③外装材・上部構造部分　④基礎・基礎ぐい　⑤その他 | | | |

備考

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

別表２　（Ａ４）

建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）

# 分別解体等の計画等

| | | | |
|---|---|---|---|
| 使用する特定建設資材の種類 | | □コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材<br>□アスファルト・コンクリート　□木材 | |
| 建築物に関する調査の結果 | 建築物の状況 | 築年数＿＿＿年、棟数＿＿＿棟<br>その他（　　） | |
| | 周辺状況 | 周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校<br>□病院　□その他（　　）<br>敷地境界との最短距離　約＿＿＿＿m<br>その他（　　） | |
| 建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容 | | 建築物に関する調査の結果 | 工事着手前に実施する措置の内容 |
| | 作業場所 | 作業場所　□十分　□不十分<br>その他（　　） | |
| | 搬出経路 | 障害物　□有（　　）　□無<br>前面道路の幅員　約＿＿＿m<br>通学路　□有　□無<br>その他（　　） | |
| | 特定建設資材への付着物（修繕・模様替工事のみ） | □有<br>（　　）<br>□無 | |
| | その他 | | |

| 工程ごとの作業内容 | 工程 | 作業内容 |
|---|---|---|
| | ①造成等 | 造成等の工事　□有　□無 |
| | ②基礎・基礎ぐい | 基礎・基礎ぐいの工事　□有　□無 |
| | ③上部構造部分・外装 | 上部構造部分・外装の工事　□有　□無 |
| | ④屋根 | 屋根の工事　□有　□無 |
| | ⑤建築設備・内装等 | 建築設備・内装等の工事　□有　□無 |
| | ⑥その他（　　） | その他の工事　□有　□無 |

| 廃棄物発生見込量 | | 種類 | 量の見込み | 使用する部分又は発生が見込まれる部分（注） |
|---|---|---|---|---|
| | 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分 | □コンクリート塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| | | □ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| | | □建設発生木材 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |

（注）　①造成等　②基礎　③上部構造部分・外装　④屋根　⑤建築設備・内装等　⑥その他

備考

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。



別表３　（Ａ４）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

# 分別解体等の計画等

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工作物の構造（解体工事のみ） | | □鉄筋コンクリート造　□その他（　　） | |
| 工事の種類 | | □新築工事　□維持・修繕工事　□解体工事<br>□電気　□水道　□ガス　□下水道　□鉄道　□電話<br>□その他（　　） | |
| 使用する特定建設資材の種類（新築･維持･修繕工事のみ） | | □コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材<br>□アスファルト・コンクリート　□木材 | |
| 工作物に関する調査の結果 | 工作物の状況 | 築年数＿＿＿年<br>その他（　　） | |
| | 周辺状況 | 周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校<br>□病院　□その他（　　）<br>敷地境界との最短距離　約＿＿＿＿m<br>その他（　　） | |
| 工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容 | | 工作物に関する調査の結果 | 工事着手前に実施する措置の内容 |
| | 作業場所 | 作業場所　□十分　□不十分<br>その他（　　） | |
| | 搬出経路 | 障害物　□有（　　）　□無<br>前面道路の幅員　約＿＿＿m<br>通学路　□有　□無<br>その他（　　） | |
| | 特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ） | □有<br>（　　）<br>□無 | |
| | その他 | | |

| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法（解体工事のみ） |
|---|---|---|---|
| | ①仮設 | 仮設工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| | ②土工 | 土工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| | ③基礎 | 基礎工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| | ④本体構造 | 本体構造の工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| | ⑤本体付属品 | 本体付属品の工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| | ⑥その他（　　） | その他の工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事の工程の順序（解体工事のみ） | | □上の工程における⑤→④→③の順序<br>□その他（　　）<br>その他の場合の理由（　　） | | |
| 工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ） | | トン | | |
| 廃棄物発生見込量 | 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ） | 種類 | 量の見込み | 使用する部分又は発生が見込まれる部分（注） |
| | | □コンクリート塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| | | □ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| | | □建設発生木材 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |

（注）　①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他

備考

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

別表１　（Ａ４）

建築物に係る解体工事

# 分別解体等の計画等

| 変更箇所 | | | |
|---|---|---|---|
| | 建築物の構造 | | □木造　□鉄骨鉄筋コンクリート造　□鉄筋コンクリート造<br>□鉄骨造　□コンクリートブロック造　□その他（　　） |
| □ | 建築物に関する調査の結果 | 建築物の状況 | 築年数＿＿＿年、棟数＿＿＿棟<br>その他（　　） |
| □ | | 周辺状況 | 周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校<br>□病院　□その他（　　）<br>敷地境界との最短距離　約＿＿＿＿m<br>その他（　　） |
| □ | 建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容 | 作業場所 | 作業場所　□十分　□不十分<br>その他（　　） |
| □ | | 搬出経路 | 障害物　□有（　　）　□無<br>前面道路の幅員　約＿＿＿m<br>通学路　□有　□無<br>その他（　　） |
| □ | | 残存物品 | □有<br>（　　）<br>□無 |
| □ | | 特定建設資材への付着物 | □有<br>（　　）<br>□無 |
| □ | | その他 | |

| 変更箇所 | | 建築物に関する調査の結果 | 工事着手前に実施する措置の内容 |
|---|---|---|---|

| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| □ | ①建築設備・内装材等 | 建築設備･内装材等の取り外し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由（　　） |
| □ | ②屋根ふき材 | 屋根ふき材の取り外し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由（　　） |
| □ | ③外装材・上部構造部分 | 外装材・上部構造部分の取り壊し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| □ | ④基礎・基礎ぐい | 基礎・基礎ぐいの取り壊し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| □ | ⑤その他<br>（　　） | その他の取り壊し<br>□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |

| 工事の工程の順序 | □上の工程における①→②→③→④の順序<br>□その他（　　）<br>その他の場合の理由（　　） |
|---|---|
| □内装材に木材が含まれる場合 | ①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し<br>□可　□不可<br>不可の場合の理由（　　） |
| 建築物に用いられた建設資材の量の見込み | トン |

| 廃棄物発生見込量 | 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分 | 種類 | 量の見込み | 発生が見込まれる部分（注） |
|---|---|---|---|---|
| □ | | □コンクリート塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤ |
| □ | | □ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤ |
| □ | | □建設発生木材 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤ |

（注）　①建築設備・内装材等　②屋根ふき材　③外装材・上部構造部分　④基礎・基礎ぐい　⑤その他

| 備考 |
|---|

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。



別表２　（Ａ４）

建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替）

# 分別解体等の計画等

| 変更箇所 | | | |
|---|---|---|---|
| □ | 使用する特定建設資材の種類 | | □コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材<br>□アスファルト・コンクリート　□木材 |
| □ | 建築物に関する調査の結果 | 建築物の状況 | 築年数＿＿＿年、棟数＿＿＿棟<br>その他（　　） |
| □ | | 周辺状況 | 周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校<br>□病院　□その他（　　）<br>敷地境界との最短距離　約＿＿＿＿m<br>その他（　　） |
| □ | 建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容 | 作業場所 | 作業場所　□十分　□不十分<br>その他（　　） |
| □ | | 搬出経路 | 障害物　□有（　　）　□無<br>前面道路の幅員　約＿＿＿m<br>通学路　□有　□無<br>その他（　　） |
| □ | | 特定建設資材への付着物（修繕・模様替工事のみ） | □有<br>（　　）<br>□無 |
| □ | | その他 | |

| 変更箇所 | | 建築物に関する調査の結果 | 工事着手前に実施する措置の内容 |
|---|---|---|---|

| 工程ごとの作業内容 | 工程 | 作業内容 |
|---|---|---|
| □ | ①造成等 | 造成等の工事　□有　□無 |
| □ | ②基礎・基礎ぐい | 基礎・基礎ぐいの工事　□有　□無 |
| □ | ③上部構造部分・外装 | 上部構造部分・外装の工事　□有　□無 |
| □ | ④屋根 | 屋根の工事　□有　□無 |
| □ | ⑤建築設備・内装等 | 建築設備・内装等の工事　□有　□無 |
| □ | ⑥その他<br>（　　） | その他の工事　□有　□無 |

| 廃棄物発生見込量 | 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み並びに特定建設資材が使用される建築物の部分及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる建築物の部分 | 種類 | 量の見込み | 使用する部分又は発生が見込まれる部分（注） |
|---|---|---|---|---|
| □ | | □コンクリート塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| □ | | □ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| □ | | □建設発生木材 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |

（注）　①造成等　②基礎　③上部構造部分・外装　④屋根　⑤建築設備・内装等　⑥その他

| 備考 |
|---|

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

別表３　　（Ａ４）

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）

# 分別解体等の計画等

| 変更箇所 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 工作物の構造（解体工事のみ） | | □鉄筋コンクリート造　□その他（　　） | |
| □ | 工事の種類 | | □新築工事　□維持・修繕工事　□解体工事<br>□電気　□水道　□ガス　□下水道　□鉄道　□電話<br>□その他（　　） | |
| □ | 使用する特定建設資材の種類（新築･維持･修繕工事のみ） | | □コンクリート　□コンクリート及び鉄から成る建設資材<br>□アスファルト・コンクリート　□木材 | |
| □ | 工作物に関する調査の結果 | 工作物の状況 | 築年数＿＿＿年<br>その他（　　） | |
| □ | | 周辺状況 | 周辺にある施設　□住宅　□商業施設　□学校<br>□病院　□その他（　　）<br>敷地境界との最短距離　約＿＿＿＿m<br>その他（　　） | |
| | 工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容 | | 工作物に関する調査の結果 | 工事着手前に実施する措置の内容 |
| □ | | 作業場所 | 作業場所　□十分　□不十分<br>その他（　　） | |
| □ | | 搬出経路 | 障害物　□有（　　）　□無<br>前面道路の幅員　約＿＿＿m<br>通学路　□有　□無<br>その他（　　） | |
| □ | | 特定建設資材への付着物（解体・維持・修繕工事のみ） | □有<br>（　　）<br>□無 | |
| □ | | その他 | | |

| 工程ごとの作業内容及び解体方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法（解体工事のみ） |
|---|---|---|---|
| □ | ①仮設 | 仮設工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| □ | ②土工 | 土工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| □ | ③基礎 | 基礎工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| □ | ④本体構造 | 本体構造の工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| □ | ⑤本体付属品 | 本体付属品の工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |
| □ | ⑥その他（　　） | その他の工事　□有　□無 | □　手作業<br>□　手作業・機械作業の併用 |

| | | |
|---|---|---|
| □ | 工事の工程の順序（解体工事のみ） | □上の工程における⑤→④→③の順序<br>□その他（　　）<br>その他の場合の理由（　　） |
| □ | 工作物に用いられた建設資材の量の見込み（解体工事のみ） | トン |

| 廃棄物発生見込量 | 特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み（全工事）並びに特定建設資材が使用される工作物の部分（新築・維持・修繕工事のみ）及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分（維持・修繕・解体工事のみ） | 種類 | 量の見込み | 使用する部分又は発生が見込まれる部分（注） |
|---|---|---|---|---|
| □ | | □コンクリート塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| □ | | □ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| □ | | □建設発生木材 | トン | □①　□②　□③　□④<br>□⑤　□⑥ |
| | （注）　①仮設　②土工　③基礎　④本体構造　⑤本体付属品　⑥その他 | | | |
| □ | 備考 | | | |

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。



（13条関係様式1）

# 法第１３条及び省令第４条に基づく書面

平成　　年　　月　　日

（発注者）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

（郵便番号　　－　　）

住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条に規定する建設工事請負契約書に記載すべき解体工事に要する費用等については次のとおりです。

１．分別解体等の方法（建築物に係る解体工事の場合）

| 工程ごとの作業内容及び解体等の方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| | ①建築設備・内装材等 | 建築設備・内装材等の取り外し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由(　　) |
| | ②屋根ふき材 | 屋根ふき材の取り外し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由(　　) |
| | ③外装材・上部構造部分 | 外装材・上部構造部分の取り壊し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ④基礎・基礎杭 | 基礎・基礎杭の取り壊し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ⑤その他(　　) | その他の取り壊し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |

２．解体工事に要する費用　＿＿＿＿＿＿＿＿円（税抜き）

（注）・解体工事の場合のみ記載する。
- 解体工事に伴う分別解体及び積込に要する費用とする。
- 受注者の見積金額(仮設費及び運搬費を含まない直接工事費)

３．再資源化等をするための施設の名称及び所在地

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

４．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用＿＿＿＿＿＿＿＿円（税抜き）

（注）受注者の見積金額（運搬費を含む直接工事費）

(13条関係様式2)

# 法第１３条及び省令第４条に基づく書面

平成　　年　　月　　日

（発注者）

様

（郵便番号　　－　　）
住　所
氏　名　　印
電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条に規定する建設工事請負契約書に記載すべき解体工事に要する費用等については次のとおりです。

１．分別解体等の方法（建築物に係る新築工事等の場合）

| 工程ごとの作業内容及び解体等の方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| | ①造成等 | 造成等の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ②基礎・基礎杭 | 基礎・基礎杭の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ③上部構造部分・外装 | 上部構造部分・外装の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ④屋根 | 屋根の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ⑤建築設備・内装等 | 建築設備・内装等の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ⑥その他(　　) | その他の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |

（注）分別解体の方法については該当がない場合は，記載の必要はない。

２．解体工事に要する費用（直接工事費）　　該当無し

３．再資源化等をするための施設の名称及び所在地

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

４．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用　　円（税抜き）

（注）受注者の見積金額（運搬費を含む直接工事費）



(13条関係様式3)

# 法第１３条及び省令第４条に基づく書面

平成　　年　　月　　日

（発注者）

様

（郵便番号　　－　　）
住　所
氏　名　　印
電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条に規定する建設工事請負契約書に記載すべき解体工事に要する費用等については次のとおりです。

１．分別解体等の方法（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）の場合）

| 工程ごとの作業内容及び解体等の方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| | ①仮設 | 仮設工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ②土工 | 土工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ③基礎 | 基礎工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ④本体構造 | 本体構造の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ⑤本体付属品 | 本体付属品の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ⑥その他<br>（　　） | その他の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |

（注）分別解体等の方法については該当がない場合は，記載の必要はない。

２．解体工事に要する費用　　円（税抜き）

（注）・解体工事の場合のみ記載する。
・解体工事に伴う分別解体及び積込に要する費用とする。
・受注者の見積金額(仮設費及び運搬費を含まない直接工事費)

３．再資源化等をするための施設の名称及び所在地

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

４．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用　　円（税抜き）

（注）受注者の見積金額（運搬費を含む直接工事費）

別　紙

再資源化等をするための施設の名称及び所在地

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※ 受注者が選択した施設を記載（品目ごとに複数記入可）



（13 条関係変更様式 1）

# 法第１３条及び省令第４条に基づく書面

平成　　年　　月　　日

（発注者）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

（郵便番号　　－　　）

住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条に規定する建設工事請負契約書に記載すべき解体工事に要する費用等については次のとおりです。

変更箇所

□

□

□

□

□

□

□

□

１．分別解体等の方法（建築物に係る解体工事の場合）

| 工程ごとの作業内容及び解体等の方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| | ①建築設備・内装材等 | 建築設備・内装材等の取り外し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由(　　) |
| | ②屋根ふき材 | 屋根ふき材の取り外し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用<br>併用の場合の理由(　　) |
| | ③外装材・上部構造部分 | 外装材・上部構造部分の取り壊し□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ④基礎・基礎杭 | 基礎・基礎杭の取り壊し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| | ⑤その他(　　) | その他の取り壊し<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |

２．解体工事に要する費用　＿＿＿＿＿＿＿＿円（税抜き）

（注）・解体工事の場合のみ記載する。

・ 解体工事に伴う分別解体及び積込に要する費用とする。

・ 受注者の見積金額(仮設費及び運搬費を含まない直接工事費)

３．再資源化等をするための施設の名称及び所在地

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

４．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用＿＿＿＿＿＿円（税抜き）

（注）受注者の見積金額（運搬費を含む直接工事費）

(13条関係変更様式2)

# 法第１３条及び省令第４条に基づく書面

平成　　年　　月　　日

（発注者）

様

（郵便番号　　－　　）
住　所
氏　名　　印
電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条に規定する建設工事請負契約書に記載すべき解体工事に要する費用等については次のとおりです。

変更箇所

１．分別解体等の方法（建築物に係る新築工事等の場合）

| 工程ごとの作業内容及び解体等の方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| □ | ①造成等 | 造成等の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ②基礎・基礎杭 | 基礎・基礎杭の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ③上部構造部分・外装 | 上部構造部分・外装の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ④屋根 | 屋根の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ⑤建築設備・内装等 | 建築設備・内装等の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ⑥その他(<br>) | その他の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |

２．解体工事に要する費用　　該当無し

（受注者の見積金額……直接工事費）

３．再資源化等をするための施設の名称及び所在地

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

４．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用　　円（税抜き）

（注）受注者の見積金額（運搬費を含む直接工事費）



(13条関係変更様式3)

# 法第１３条及び省令第４条に基づく書面

平成　　年　　月　　日

（発注者）

様

（郵便番号　　－　　）
住　所
氏　名　　印
電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条に規定する建設工事請負契約書に記載すべき解体工事に要する費用等については次のとおりです。

変更箇所

１．分別解体等の方法（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等）の場合）

| 工程ごとの作業内容及び解体等の方法 | 工程 | 作業内容 | 分別解体等の方法 |
|---|---|---|---|
| □ | ①仮設 | 仮設工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ②土工 | 土工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ③基礎 | 基礎工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ④本体構造 | 本体構造の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ⑤本体付属品 | 本体付属品の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |
| □ | ⑥その他<br>（　　） | その他の工事<br>□有　□無 | □手作業<br>□手作業・機械作業の併用 |

（注）分別解体の方法については該当がない場合は，記載の必要はない。

２．解体工事に要する費用　　円（税抜き）

（注）・解体工事の場合のみ記載する。
- 解体工事に伴う分別解体及び積込に要する費用とする。
- 受注者の見積金額(仮設費及び運搬費を含まない直接工事費)

３．再資源化等をするための施設の名称及び所在地

| 特定建設資材廃棄物の種類 | 施設の名称 | 所在地 |
|---|---|---|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

４．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用　　円（税抜き）

（注）受注者の見積金額（運搬費を含む直接工事費）

# 告　知　書

平成　　年　　月　　日

（下請人）
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

（郵便番号　　－　　）
住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
電話番号　　－　　－

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第 12 条第 2 項の規定により，対象建設工事の届出に係る事項について，次のとおり告知します。

1．工事の名称

2．工事の場所

3．告知内容　　添付資料のとおり

4．添付資料
①別表（別表 1～3 のいずれかに必要事項を記載したもの）
□別表 1（建築物に係る解体工事）
□別表 2（建築物に係る新築工事等（新築・増築・修繕・模様替））
□別表 3（建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（土木工事等））
②工程の概要を示す資料
□工程表



様式第１号

# 通　知　書

平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

工事発注者名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１１条の規定により，次のとおり通知します。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 工事内容 | 工事の名称 | | | |
| | 施工場所 | 広島県　　市郡　　区町村 | | |
| | 工事概要 | 工事の種類<br>□建築物に係る解体工事　□建築物に係る新築又は増築の工事<br>□建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの<br>□建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等（　　）※<br>工事の規模<br>□建築物に係る解体工事 用途＿＿，階数＿＿，工事対象床面積＿＿㎡<br>□建築物に係る新築工事 用途＿＿，階数＿＿，工事対象床面積＿＿㎡<br>□建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの<br>用途＿＿，階数＿＿，請負代金＿＿万円（税込）<br>□建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金＿＿万円（税込） | | |
| | 工　期 | 平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日<br>（工事着手予定日　：　平成　　年　　月　　日） | | |
| 発注者 | 所属 | | | 職・氏名 |
| | 所在地 | 〒 | | |
| | 電話番号 | －　－　（内線　） | ＦＡＸ | －　－ |
| 受注者 | 会社名 | | | 現場代理人氏名 |
| | 所在地 | 〒 | | |
| | 電話番号 | －　－　（内線　） | ＦＡＸ | －　－ |

＊受付番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等の場合は工事の具体的な種類を記入する。
（例：道路改良，舗装，築堤，土地改良等）

様式管－２

# 測　定　結　果　総　括　表

工　種

種　別

| 測定項目 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 規格値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 |
| 平均値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最大値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最小値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最多値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| データ数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 標準偏差 | | | | | | | | | | | | | | | |

| 測定項目 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 規格値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 |
| 平均値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最大値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最小値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最多値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| データ数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 標準偏差 | | | | | | | | | | | | | | | |

| 測定項目 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 規格値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 |
| 平均値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最大値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最小値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 最多値 | | | | | | | | | | | | | | | |
| データ数 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 標準偏差 | | | | | | | | | | | | | | | |

1410

様式管－１

| 主任監督員 | 監　督　員 |
|---|---|
| | |

工　事　名

品　質　管　理　表

種　目

発注社名

請負者名

1409

様式管－４

# 出 来 形 管 理 図 表

工　種

種　別　　測定者　　印

| 測点 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 設計値との差 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 測定項目 | | | | 測定項目 | | | | 測定項目 | | | | 測定項目 | | | | |
| 規格値 | | | | 規格値 | | | | 規格値 | | | | 規格値 | | | | |
| 測点又は区別 | 設計値 | 実測値 | 差 | 測点又は区別 | 設計値 | 実測値 | 差 | 測点又は区別 | 設計値 | 実測値 | 差 | 測点又は区別 | 設計値 | 実測値 | 差 |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平均値 | | | | 平均値 | | | | 平均値 | | | | 平均値 | | | |
| 最大値 | | | | 最大値 | | | | 最大値 | | | | 最大値 | | | |
| 最小値 | | | | 最小値 | | | | 最小値 | | | | 最小値 | | | |
| 最多値 | | | | 最多値 | | | | 最多値 | | | | 最多値 | | | |
| データ数 | | | | データ数 | | | | データ数 | | | | データ数 | | | |
| 標準偏差 | | | | 標準偏差 | | | | 標準偏差 | | | | 標準偏差 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

1412

様式管－３

# 測定結果一覧表

工事名

工　種

種　別　　測定者　　印

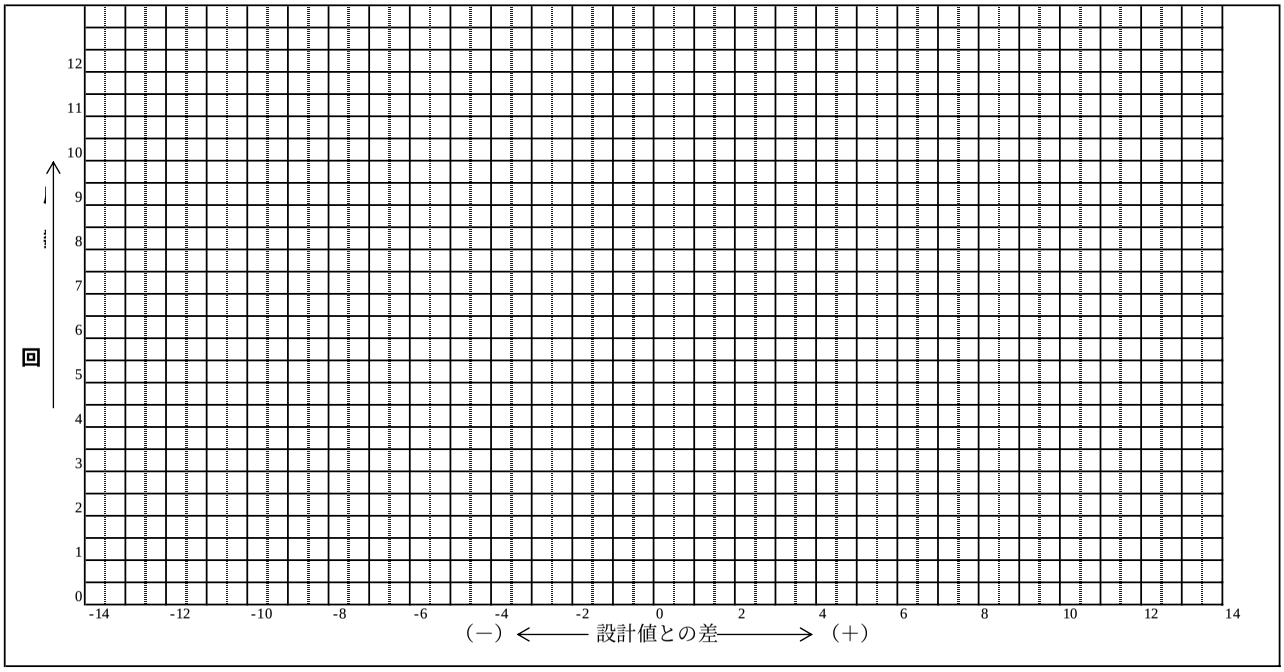
| 測定項目 | | | | | | | | | | | | | 略　　図 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 規格値 | | | | | | | | | | | | | |
| 測点又は区別 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 測定項目 | | | | | | | | | | | | | |
| 規格値 | | | | | | | | | | | | | |
| 測点又は区別 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | 設計値 | 実測値 | 差 | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

1411

様式管－６

度数表

基準高　H　　測定者氏名　　印




1414

様式管－５

出来形管理図（工程能力図）

工　種

種　別　　測定者　　印

| 測定項目<br>規格値 | 測点 | 1 | 2 |
|---|---|---|---|
| 基準高<br>H | 設計値との差<br>0 | | |
| 法　長<br>L | 設計値との差<br>0 | | |
| 延　長<br>L | 設計値との差<br>0 | | |

1413

様式管－７の１

# X―Rs―Rm管理データーシート

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名称 | | 工事名 | | 期間 | 自 | 平成　年　月　日 |
| 品質 特性 | | 出張所 監督官 | | | 至 | 平成　年　月　日 |
| 測定単位 | | 日標準量 | | 請負者 | | |
| 規格限界 上限値 | | 試料 大きさ | | 現場代理人 | | 印 |
| 規格限界 下限値 | | 試料 間隔 | | 測定者氏名 | | 印 |
| 設計基準値 | | 作業機械名 | | | | |

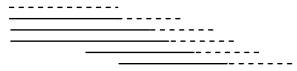
| 月日 | 試験番号 | 測定値 a | b | c | d | 計 Σ | 平均値 X | 移動範囲 Rs | 測定値内の範囲 Rm |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | | | | | | | | |
| | 2 | | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | |
| | 4 | | | | | | | | |
| | 5 | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |
| | 6 | | | | | | | | |
| | 7 | | | | | | | | |
| | 8 | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |
| | 9 | | | | | | | | |
| | 10 | | | | | | | | |
| | 11 | | | | | | | | |
| | 12 | | | | | | | | |
| | 13 | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |
| | 14 | | | | | | | | |
| | 15 | | | | | | | | |
| | 16 | | | | | | | | |
| | 17 | | | | | | | | |
| | 18 | | | | | | | | |
| | 19 | | | | | | | | |
| | 20 | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |

| | X | Rs | Rm |
|---|---|---|---|
| 平均 | | | |
| 累計 | | | |
| 小計 | | | |

記　事

| n | d1 | D4 | E2 |
|---|---|---|---|
| 2 | 1.13 | 3.27 | 2.66 |
| 3 | 1.69 | 2.57 | 1.77 |
| 4 | 2.06 | 2.28 | 1.46 |
| 5 | 2.33 | 2.11 | 1.29 |

注）1. 品質特性、測定単位は共通仕様書の品質管理図適用表により記入する。
2. 規格限界、設計基準値は設計図書に定められた値を記入する。
3. 管理限界線の引直しは5-3-5-7-10-10-10方式による。



備考）――管理限界計算のための予備ﾃﾞｰﾀの区間を示す。
- - - - -上記の管理限界を適用する区間を示す。

4. 以下最近の20個（平均値Xを1個とする）のﾃﾞｰﾀを用い次の10個に対する管理限界とする。



様式管－７の２

# X―Rs―Rm管理データーシート　その2

| 月日 | 試験番号 | 測定値 a | b | c | d | 計 Σ | 平均値 X | 移動範囲 Rs | 測定値内の範囲 Rm |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | |

| | X | Rs | Rm |
|---|---|---|---|
| 平均 | | | |
| 累計 | | | |
| 小計 | | | |

記　事

| n | d1 | D4 | E2 |
|---|---|---|---|
| 2 | 1.13 | 3.27 | 2.66 |
| 3 | 1.69 | 2.57 | 1.77 |
| 4 | 2.06 | 2.28 | 1.46 |
| 5 | 2.33 | 2.11 | 1.29 |

様式管－20

## コンクリート中の塩分測定表

主任監督員氏名　　印

工事名　　監督員氏名　　印

| 測定年月日 | 工　区 | ｺﾝｸﾘｰﾄの種類 | 混和剤の種類（m³当りの使用量） | ｾﾒﾝﾄの種類 | 単位水量（kg/m3） | 測定器名 | 測定値（%）又は空欄（上段）（塩分量（kg/m³）） | | | 測定者 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | 1 | 2 | 3 | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

備考：測定結果に対する処置を講じた事項等を記入する。

注）塩分濃度を（%）で測定した場合（上段）は、次式で塩分量を求める。　　塩分量（kg/m³）＝（単位水量（kg/m3））×測定値）÷100

1418

様式管－８

## X―Rs―Rm管理図

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 設計基準値 | | 工事名 | | | 出張所・監督官 | | |
| 名称 | | 日標準量 | | | 期間 | 自 | 平成　年　月　日 |
| 品質特性 | | 規格限界 | 上限値 | | | 至 | 平成　年　月　日 |
| 測定単位 | | | 下限値 | | 請負者 | | |
| 測定方法 | | 試料 | 大きさ | | 現場代理人氏名 | | 印 |
| 作業機械名 | | | 間隔 | | 測定者氏名 | | 印 |

X

Rs

Rm

| | |
|---|---|
| 組の番号 | |
| 記事 | |

1417

様式管－31

# くい打成績表

工事名

現場代理人氏名　　印

打込箇所

出来形管理担当者氏名　　印

| くい打込み　月日 | くい番号 くい径（cm） | R モンキーの重さ（t） | h モンキーの落下高（cm） | a 測定前くい頭の高さ（cm） | b 打撃回数（回） | c 測定後くい頭の高さ（cm） | 沈下量 J=a-c/b（cm） | 支持力 P（t） | 測定者 | 摘　要 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |
| 月　日 | | | | | | | | | | |

設計支持力　　公式

くい配置図



様式管－33

# 浸透探傷試験記録書

工事名　　検査員氏名　　印

杭番号　　確認員氏名　　印

検査月日

1．探傷剤及び条件

| 検査方法 | 浸透時間 | 分 | 現像時間 | 分 |
|---|---|---|---|---|
| 探傷表面状態 □塗 □そ | | | 気温 | 度 |
| 使用液製品名 | 製造会社 | | 開始時 | 度 |
| | | | 終了時 | |
| 浸透液 | | | ロット番号 | |
| 現像液 | | | | |
| 洗浄液 | | | | |

2．試験結果

□割れによる指示模様　□無し □有り

□線状欠陥指示模様　□無し □有り

□円状欠陥指示模様　□無し □有り 〔　〕mm

□連続欠陥指示模様　□無し □有り 〔　〕mm

□分散欠陥指示模様　□無し □有り

欠陥個数 〔　〕箇所　最大欠陥長 〔　〕mm　隣接欠陥距離 〔　〕mm

欠陥個数 〔　〕箇所　最大欠陥長 〔　〕mm

3．欠陥略図

判　定

様式管－34

# 放射線透過試験記録書

| | | | |
|---|---|---|---|
| 工事名 | | 試験技術者の所属氏名 | 印 |
| 杭番号 | | 確認員氏名 | 印 |
| 杭の材質<br>母材の肉厚<br>mm | | 確認月日 | |
| 撮影年月日 | | | |

1．試験条件

| | | |
|---|---|---|
| 使用装置及び材料 | (a) 放射線透過装置名 | |
| | (b) 実行焦点寸法 | |
| | (c) フィルム及び像感紙の種類 | |
| | (d) 透過度計の種類 | |
| | (e) 階調計の種類 | |
| 撮影条件 | (a) 使用管電圧又は放射性同位元素の種類 | |
| | (b) 使用管電流又は放射線の強さ | |
| | (c) 露出時間 | |
| 撮影配置 | (a) Ｌ１＋Ｌ２ | |
| | (b) Ｌ２ | |
| | (c) Ｌ３ | |
| 現像条件 | (a) 現像液・現像温度・現像時間（手現像） | |
| | (b) 自動現像機名及び現像液（自動現像） | |

2．試験結果の判定　　母材の厚さ（　　）　　試験視野（　　）

| きずの区分 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 第１種のきず | きず番号 | きず長径 | きず点数 | 個別分類 | 総合分類 |
| 有無 | No1 | mm | 点 | | |
| | No2 | mm | 点 | | |
| | No3 | mm | 点 | | |
| | 小計 | mm | 点 | （　）類 | |
| 第４種のきず | きず番号 | きず長径 | きず点数 | 個別分類 | |
| 有無 | No1 | mm | 点 | | |
| | No2 | mm | 点 | | |
| | No3 | mm | 点 | | |
| | 小計 | mm | 点 | （　）類 | |
| 第２種のきず | きず番号 | きず長径 | きず点数 | 個別分類 | |
| 有無 | No1 | mm | 点 | | |
| | No2 | mm | 点 | | |
| | No3 | mm | 点 | | |
| | 小計 | mm | 点 | （　）類 | |
| 第３種のきず<br>有無 | （　）類 | | | | 総合<br>（　　）類 |



様式管－35

# 塗装膜厚測定表

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 工事名 | | 工種名 | | 現場代理人 | |
| | | | | 監理技術者 | |
| ロット番号 | | 請負会社名 | | 主任技術者 | |
| | | | | 施工管理担当者 | |
| 塗装系 | | 基準膜厚合計値 | | μ | |
| 測定時点 | 工場塗装終了後 | 現場塗装開始前 | 現場塗装終了後 | | |
| 測定月日 | | 測定者 | 印 | | |
| 測定位置 | | | | | |

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 計 | 平均$\overline{X}$i | X－$\overline{X}$i | (X－$\overline{X}$i)2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | |
| 11 | | | | | | | | | |
| 12 | | | | | | | | | |
| 13 | | | | | | | | | |
| 14 | | | | | | | | | |
| 15 | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | |
| 18 | | | | | | | | | |
| 19 | | | | | | | | | |
| 20 | | | | | | | | | |
| 21 | | | | | | | | | |
| 22 | | | | | | | | | |
| 23 | | | | | | | | | |
| 24 | | | | | | | | | |
| 25 | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | |
| 平均値X＝ | | | | | | | | 標準偏差　S＝ | |

| | |
|---|---|
| 平均値　$\overline{X} = \frac{1}{N}\sum_{i=1}^{N} X_i$ | |
| 標準偏差　$S = \sqrt{\frac{1}{N-1}\sum_{i=1}^{N}(\overline{X}-X_i)^2}$ | |

様式管－36

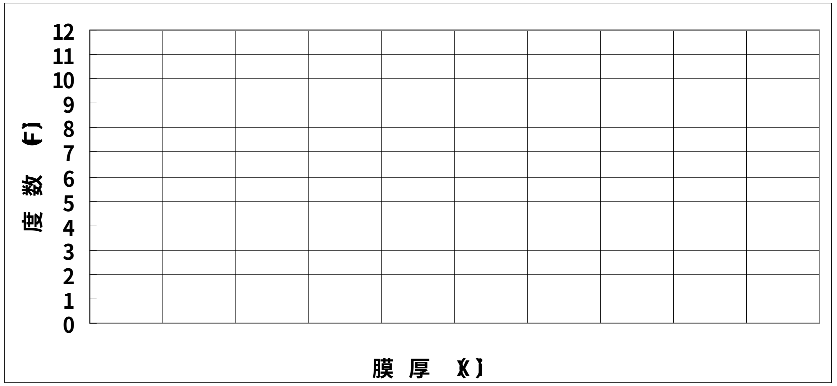
# 塗装膜厚測定成績表

| | | | |
|---|---|---|---|
| ロット番号 | | 現場代理人 | |
| | | 監理技術者 | |
| | | 主任技術者 | |
| | | 施工管理担当者 | |
| 測定時点 | | 目標塗装膜厚 | μｍ |

| 平均値Ｘおよび標準偏差Ｓ | 判定 | |
|---|---|---|
| 平均値 $\overline{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^{N} xi =$ μｍ | 標準偏差Ｓ＝ | 標準偏差×0.2＝ |
| 標準偏差 $S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^{N} (\overline{X}-Xi)^2} =$ μｍ | 平均値$\overline{X}$＝ | 標準偏差×0.9＝ |
| | ５点平均値の最小値 ＝ | 標準偏差×0.7＝ |

| 度数分布 | | | |
|---|---|---|---|
| 膜厚Ｘｉのクラス | 中央値 | チェック | 度数Ｆｉ |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

ヒストグラム






様式管－37

# 場所打杭（機械掘削）の施工記録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 年度 | | 杭長 設計長 / 施工長 | |
| 工事名 | | コンクリート天端高 設計高 / 施工高 | |
| 工事場所 | | 鉄筋天端高 設計高 / 施工高 | |
| 請負者名 | | コンクリート量(m3) 設計量 / 施工量 | |
| 立会人 | | 現場代理人 | 印 |
| 請負人担当者名 | | 監理技術者 | 印 |
| 施工年月日 | | 杭平面図偏位置 | |
| 天候（気温） | | | |
| 施工場所 | | | |
| 杭径 | | | |
| 杭長 | | | |
| 主筋本数 | | | |
| 施工方法 | | | |
| 施工機械器具 掘削機本体 | | | |
| クレーン | | | |
| トレミー管 | | | |
| ケーシングチューブ | | | |
| その他主要器具 | | | |
| 杭の位置図 | | | |

| 柱状図 | 土質名 | 調査時土質 N値 | 標高 | 深度 | 施工時 ケーシング配管 | 施工時 トレミー管配管 | 施工時 杭位置図 | 掘削記録 | コンクリート関係施工時間 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | |

コンクリート高さ
ケーシング下端
トレミー管下端

| | | |
|---|---|---|
| 特記事項 | 沈殿物処理 | |
| | 処理時間 | |

| コンクリート関係 | |
|---|---|
| スランプ | cm |
| 空気量 | % |

様式管－39

## 鉄筋ガス圧接超音波探傷検査記録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施工業者 | | | |
| 工事名 | | | |
| 圧接業者名 | | | |
| 圧接者名 | | | |
| 圧接工法 | | | |
| 検査期日 | | | |
| 検査範囲 | | | |
| 検査基準 | | | |
| 検査技術者及び資格 | | | |
| 母材の材質呼び名・表示径 | | | |
| 探　傷　器 | | | |
| 探傷器名 | | 製造番号 | |
| 点検年月日 | | 点検責任者 | |
| 探　触　子 | | | |
| 製造者名 | | 製造番号 | |
| 呼　　称 | | 実測屈折角 | |
| 付　属　品 | | | |
| 接触媒質 | | | |
| 治　　具 | | | |

## 検　査　位　置　図

1426

様式管－38

## 場所打コンクリート杭施工記録表

工事名：

平成　　年　月　日　　施工番号　NO.

| | | |
|---|---|---|
| 杭番号 | No. | |
| 杭　径 | mm | |
| 掘削長 | m | |
| 杭　長 | m | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ量 | $m^3$ | |
| 所要時間 | 時間　分 | |
| 使用機械 | | |
| 工程 | ①ﾊﾟﾜｰｼﾞｬｯｷ設置・撤去 | |
| | ②ｽﾀﾝﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ建込 | |
| | ③ｸﾗﾌﾞﾊﾝﾏｰ掘削 | |
| | ④ﾛｰﾀﾘｰﾃｰﾌﾞﾙ設置・撤去 | |
| | ⑤掘　　削 | |
| | ⑥ロッドジョイント | |
| | ⑦孔　壁　測　定 | |
| | ⑧鉄　筋　建　込 | |
| | ⑨トレミー管建込 | |
| | ⑩スライム処理 | |
| | ⑪コンクリート打込 | |
| | ⑫埋　め　戻　し | |
| | ⑬ｽﾀﾝﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟ引抜 | |
| | ⑭段　　取　　り | |
| | ⑮片　　付　　け | |
| | ⑯そ　　の　　他 | |

時間：7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00 7:00

深度m：5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70

1425